

第七十回 帝國議會衆議院

臨時租稅增徵法案外五件委員會議錄(速記)第十四回

出席政府委員左ノ如シ

昭和十二年三月十三日(土曜日)午後一時三

## 出席委員左ノ如シ

委員長 増田 義一君  
理事高橋 守平君 理事服部 英明君  
理事宮澤 裕君 理事三善 信房君

太田信治郎君  
松田喜三郎君

川端元五郎君

内藤  
正剛君

作田高太良君  
天野三太郎君

木暮武太夫君

山本 芳治君

河野  
密君

加藤 勘十君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣  
結城豊太郎君

第六類第一號 臨時租稅增徵法案外五件委員會議錄

第十四回 昭和十二年三月十三日

出席政府委員左ノ如シ	○萩原政府委員	大藏局事務官	高瀬	武寧君
大藏次官	先日ノ矢野サンカラノ御	大藏次官	賀屋	興宣君
大藏省主税局長	スカラ、是ヨリ政府委員ノ發言ヲ許シマス	大藏省主税局長	石渡莊太郎君	大藏省主税局長
大藏書記官	出席サレマシテ、答辯サレルサウデアリマス	大藏書記官	谷口	恒二君
大藏書記官	出席サレマシテ、答辯サレルサウデアリマス	商工省鑛山局長	松隈	秀雄君
拓務省殖產局長	斯ガ、調べテ見マスト昭和十二年度ノ豫算	拓務省殖產局長	萩原	彦三君
萩原	スガ、調べテ見マスト昭和十二年度ノ豫算	萩原	晴彦君	萩原
彦三君	スガ、調べテ見マスト昭和十二年度ノ豫算	彦三君	晴彦君	彦三君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	臨時租稅增徵法案(政府提出)	臨時租稅增徵法案(政府提出)	臨時租稅增徵法案(政府提出)
揮發油稅法案(政府提出)	揮發油稅法案(政府提出)	有價證券移轉稅法案(政府提出)	有價證券移轉稅法案(政府提出)	○増田委員長
五件ノ委員會ヲ開キマス、先日矢野委員カラノ質疑中拓務省、關東局ニ關スル方面ノ政府ヨリノ答辯ガ殘フテ居ルノデアリマス、本日拓務省、關東局双方ノ政府委員ガスカラ、是ヨリ政府委員ノ發言ヲ許シマス	五件ノ委員會ヲ開キマス、先日矢野委員カラノ質疑中拓務省、關東局ニ關スル方面ノ政府ヨリノ答辯ガ残フテ居ルノデアリマス、本日拓務省、關東局双方ノ政府委員ガスカラ、是ヨリ政府委員ノ發言ヲ許シマス	五件ノ委員會ヲ開キマス、之ヲ割合ニ致シマスルト云フト、直接稅ガ三割七分七厘、間接稅ガ六割二分三厘トナリマス、次ニ臺灣總督府ノ豫算ニ於キマシテハ、直接稅ガ二千四百三十一萬一千四百二十五圓、間接稅ガ三千二百五十三萬九千四百六十三圓、合計五千六百八十五萬八百八十八圓ト相成リマス、其比率ハ直接稅ガ四割二分八厘、間接稅ガ五割七分二厘ト相成リマス	五百六千六百九十六萬三千九百六十圓、合計ガ四千五十二萬九千四百八十九圓、間接稅ガ六千六百九十六萬三千九百六十圓、合計致シマシテ一億七百四十九萬三千四百四十九圓デゴザイマス、之ヲ割合ニ致シマスルト云フト、直接稅ガ三割七分七厘、間接稅ガ六割二分三厘トナリマス、次ニ臺灣總督府ノ豫算ニ於キマシテハ、直接稅ガ二千四百三十一萬一千四百二十五圓、間接稅ガ三千二百五十三萬九千四百六十三圓、合計五千六百八十五萬八百八十八圓ト相成リマス、其比率ハ直接稅ガ四割二分八厘、間接稅ガ五割七分二厘ト相成リマス	五百六千六百九十六萬三千九百六十圓、合計ガ四千五十二萬九千四百八十九圓、間接稅ガ六千六百九十六萬三千九百六十圓、合計致シマシテ一億七百四十九萬三千四百四十九圓デゴザイマス、之ヲ割合ニ致シマスルト云フト、直接稅ガ三割七分七厘、間接稅ガ六割二分三厘トナリマス、次ニ臺灣總督府ノ豫算ニ於キマシテハ、直接稅ガ二千四百三十一萬一千四百二十五圓、間接稅ガ三千二百五十三萬九千四百六十三圓、合計五千六百八十五萬八百八十八圓ト相成リマス、其比率ハ直接稅ガ四割二分八厘、間接稅ガ五割七分二厘ト相成リマス

臨時外債特別税法案(政府提出)  
外貨債特別税法案(政府提出)  
有價證券移轉税法案(政府提出)  
(樺太ニ於ケル租税ニ關スル件)(政府提出)  
明治四十年法律第二十一號中改正法律案  
政府提出

是ハ非常ニ御尤ノ御尋デゴザイマスガ、補充金ハ單ニ財政上ノ援助ト云フ意味バカリデハナインデアリマシテ、朝鮮統治上重要ナル意味ヲ有ツテ居ルモノト存ジマスルシ、又繰入金ハ一般會計ト特別會計トノ財政上ノ現狀ニ照シマシテ、互ニ協力シテ財政上ノ困難ナルニ對處ショウト云フヤウナ意味合ノモノデアリマシテ、計算上ニ於テハ同一デアリマスケレドモ、補充金ト繰入金トハ其意味ガ異ツテ居リマスノデ、之ヲ別個ニ考ヘテ居ルヤウナ譯デゴザイマス、ゾレカラ其次ノ御質問ハ出港税ヲ廢シ、内地同様ニ消費税ヲ課スルノ意思ナキヤト云フ御尋デゴザイマス、是ハ主ニ朝鮮ニ關スル間題カト考ヘルノデアリマスガ、朝鮮ノ社會事情ナリ、民度ナリガマダ内地ト大分違ツテ居ルノデアリマシテ、内地ト同様ナ消費稅ヲ賦課シ得ル程度ニハ達シテ居ラナイヤウナ現狀デゴザイマス、ソコデ若シ將來内地同様ナ消費稅ヲ賦課シ得ルヤウナ程度ニ

ノミナラズ朝鮮ト臺灣トハ、其住民ノ負擔  
力ニモ多少ノ相違ガアルノデハナイカト云  
フ風ニ考ヘラレマスノデ、只今申上上ゲマ  
シタ通りニ、今回ノ増徵ノ金額ノミヲ以  
テ、直チニ朝鮮臺灣ノ負擔ノ比較ヲスルト  
云フコトハ、出來ナイノヂヤナイカト云フ  
風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、一應御答  
申上ゲマス

○矢野委員 朝鮮ト臺灣トデ人口一人當リ  
ノ租稅ノ納稅額ハドレ位ニナッテ居リマス  
カ、比較ガアリマスカ

○萩原政府委員 只今持ツテ居リマセヌカラ  
ラ、後刻差上ダルコトニ致シマス

○矢野委員 戴カナクテモ宜シウゴザイ  
マスガ、私ハ人口二千二百萬ノ朝鮮ト五  
百萬ノ臺灣トガ、各、四百萬圓程度ノ增稅デ  
アルノデ、ドウシテモ是ハ負擔ノ均衡ヲ得  
テ居ルトハ考ヘラレナインデアリマス、併  
ナガラソレニハ格別ノ意味ガアルト云フ御  
説明デスカラ、一應承テ置キマス、私ノ質  
問ハ是デ打切りタイト思ヒマス、唯關東局  
ノ取引稅ノコトニ付テ御答辯ラ願ヒタイト  
思ヒマス

○高瀬政府委員 關東州ニ於キマスル取引  
所稅ヲ、内地ノ場内取引ニ比べマシテ低イ稅  
率ヲ若シ課ストセバ、内地ノ取引ガ大連ニ吸

收サレル虞ハナイカト云フ、矢野サンノ御質問ニ對シテ御答致シマスガ、關東州ニ於ケル取引稅ノ稅率トカ、課稅方法、其他ニ付キマシテハ改正ヲ行ハントシテ居ルノデアリマシテ、即チ之ヲ内地ニ於ケル增稅率ノ引上トノ權衡トカ、或ハ大連ノ溼洲ニ於ケル特殊地位トカ、或ハ關東州内ニ於ケル證券取引トカ、溼洲特產品ノ取引ノ現狀、サウ云フヤウナモノ、色々ナ關係ヲ考慮致シマシテ、是ガ改正ヲ十二年度中ニ審議立案シマシテ、十三年度ノ四月カラ之ヲ實施スルコトガ、略々内定シテ居ルノデゴザイマス、關東州ニ於キマシテモ日本内地ニ於ケルト同様ニ、關東州内ノ國稅及ビ地方稅、此兩方ヲ通ズル根本的稅制整理ノ計畫中ニ、此取引所稅モ包含サレテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、仍テ此關東州内ニ於ケル取引稅中ノ正セラレルカト云フコトハ、マダ決定シテ居リマセヌ、右ノヤウナ事情デ、一年ダケ内地ヨリモ遅レルコトニナリマスノデ、少クトモ一年間ハ内地ノソレトノ間ニ、取引所稅ノ稅率等ガドウ云フ風ニ十三年度ヨリ改ノ稅率ニ於テ大キナ開キガ生ズル譯デアリマスガ、サウカト申シマシテ是ガ爲ニ内地ノ株式證券ノ取引ガ、直グ大連ニ吸收セラ

レルヤウナ事態ガ發生スル、是ハ私ノ考ト  
シテハ決シテ御心配ニナルニ及バナイト考  
ヘマス、以下其理由ヲ説明致シマスト、大  
連ニ於ケル證券ノ取引ヘ、現在マデノ所實  
ニ微々タルモノデゴザイマシテ、隨テ其取  
引店ノ數モ少ク、上場サレテ居ル内地ノ株  
ノ銘柄モ非常ニ少イ、文字通り田舎ノ地方  
的取引所ニ過ギナイノデゴザイマシテ、即  
チ今日マデノ所大連取引所ニ於ケル取引ヲ  
見マスルト、單ニ大阪、東京ニ於ケル取引  
ヲ其儘寫真ヲ撮スヤウニ映シ出シテ、追隨  
的ニ相場ヲ建テ、居ルニ過ギナイノデゴザ  
イマシテ、本當ノ意味ニ於テ、嚴格ナル意  
味ニ於テノ證券市場ト云フモノガ大連ニハ  
未ダナイト言ツテ過言デナイヤウナ實情デ  
ゴザイマス、又サウ云フ譯デゴザイマスカ  
ラシテ、大連ガ直グ證券等ノ大キナ取引ノ  
中心ニナルガ爲ニハ、到底現在ノ大連ノ財  
力ヲ以テシテハ、或ハ現在ノ大連ニ於ケル  
取引店ノ整備ノ狀態トカ、其外大連ニ於ケ  
ル事情ナドカラ考ヘマシテ、ソレ等ガ之ニ  
ニナルヤウニ中心トナルト致シマシテモ、  
程遠イ將來ノコト、考ヘマス、大連ノ人口  
ハ五十萬ト稱シテ居リマスガ、其大部分ハ  
満人デゴザイマシテ、満人ハ滿洲ノ特產品

ノ取引ニハ非常ニ熱心デ、熱中シテ居リマスガ、日本内地ノモノ、或ハ満洲物デアラウガ證券類ノ取引ニハ餘リ手ヲ出ス傾向ガ今ノ所ゴザイマセヌ、デ若シ大連ニ於テ證券取引ガ殷賑ニナルトシマスレバ、大連ニカランデ居ル日本人ノ財力ヲ以テシテハ、大キナコトハ逆モ出來ナイノデゴザイマスカラシテ、内地カラ證券取引關係ノ有力者ガ大連ニ行クトカ、或ハ電話デ以テ、其他ノ方法デ以テ取引ヲ爲スヨリ外ゴザイマセヌガ、私ガ申上ゲル迄モナク株ノ如キ機敏迅速ヲ要シテ、他人委セニバカリ出來ナイヤウナ取引ニ於キマシテハ、内地デ稅金ガ高イカラト云シテ、其事ダケデ以テ態證券取引、相場ノ爲ニ海ヲ越エテ遙々大連マデ行フタリ、或ハ高イ電話料ヲ拂タリ、大連ヘ無線電話ヲ掛ケルト中々掛リマセヌシ、サウ云フ無線電話ナドノ方法デ大連デ相場ヲスル人ガ、大ニ出テ來ルトハ考ヘラレナインデアリマス、論ヨリ證據實績ニ付テ申上ゲマスト、今日マデノ大連ニ於ケル證券取引ノ伸張セザル、伸ビナイ所ノ狀況ヲ説明スレバ御諒解ガ行クト思ヒマスルカラ、其點ヲ一寸説明シマスト、關東州ニ於ケル現行法ニ於テハ、大連ニ於ケル取引税ハ内地ノ現行稅率ト形式的ニハ大體同率デゴザイマス

ガ、實際課稅ノ方法カラ申シマスト、ソレガ爲ノ負擔ト云フモノハ、實際上ハ御話ニニ於キマシテ定期取引ト、ソレカラ延取引ト、ソレカラ現物取引トゴザイマスガ、定期取引ノ中デモ今關東州ニ於ケル規定ニ依リマスト、轉賣買戻ニハ課稅シナインデゴザイマス、定期取引ノ轉賣買戻ヲ除イタ部分ニ課稅シテ居リマスガ、其定期取引中デモ課稅サル、部分ハ、非常ニ少イノデゴザイマス、ノミナラズ、日本内地ノ丁度短期ニ相當スルモノデゴザイマスルガ、延取引ト云フノガゴザイマスガ、此延取引ト、ソレカラ現物取引是ハ課稅外デゴザイマシテ、今申シタ三ツノ取引ノ中定期取引ガ占メル割合ガ一番少クテ、殆ド取ルニ足ラナイヤウナ金額デゴザイマシテ、大部分ヲ占メル延取引ト現物取引、之ニハ課稅ガナインデゴザイマス、斯様ナ意味デ申シマスト、稅率コソ日本内地ト今殆ド同ジニナッテ居リマスガ、實際ノ負擔カラ申シマスト、大連デハ株ノ取引ニ付テハ稅金ガ課カッテ居ナイト言フテモ宜イ位ナ狀態デゴザイマス、ソレデ實際上今申シタヤウニ稅金ガ課カッテ居ナイト云フヤウナ狀態デゴザイマスカラシテ、稅金ノミノ關係デ若シ證券取引ト云

ガ、實際課稅ノ方法カラ申シマスト、ソレガ爲ノ負擔ト云フモノハ、實際上ハ御話ニニ於キマスナラバ、大連ハ既ニ此證券取引ノ轉賣買戻ニ付テ申シマスト、餘リ好調ノ趨勢ヲ示シテ居ラナインデアリマス、例ヘバ定期取引ニ付テ申シマスト、昭和八年ニハ取引高ガ八百三十四萬圓ゴザイマシタガ、昭和九年ニハ四百二十五萬圓、十年ニハ百三十八萬圓ニナッテ居リマシテ、ソレカラ十一年ニ於テハ今一寸數字ガゴザイマセヌガ、是モ尙ホヤハリ減少ヲ示シテ居ルサウデゴザイマス、斯ウ云フ風ニ著シイ減少ヲ示シテ居リマシテ、此定期取引ニ付テノミ吾々ハ課稅スル、關東局デハ課稅カラ現物取引、是ハ課稅外デゴザイマシテ、今申シタ三ツノ取引ノ中定期取引ガ占メル割合ガ一番少クテ、殆ド取ルニ足ラナイヤウナ金額デゴザイマシテ、大部分ヲ占メル延取引ト現物取引、之ニハ課稅ガナインデゴザイマス、斯様ナ意味デ申シマスト、稅率コソ日本内地ト今殆ド同ジニナッテ居リマスガ、實際ノ負擔カラ申シマスト、大連デハ株ノ取引ニ付テハ稅金ガ課カッテ居ナイト言フテモ宜イ位ナ狀態デゴザイマス、ソレデ實際上今申シタヤウニ稅金ガ課カッテ居ナイト云フヤウナ狀態デゴザイマスカラシテ、稅金ノミノ關係デ若シ證券取引ト云

ガ、實際課稅ノ方法カラ申シマスト、ソレガ爲ノ負擔ト云フモノハ、實際上ハ御話ニニ於キマスナラバ、大連ハ既ニ此證券取引ノ轉賣買戻ニ付テ申シマスト、餘リ好調ノ趨勢ヲ示シテ居ラナインデアリマス、例ヘバ定期取引ニ付テ申シマスト、昭和八年ニハ取引高ガ八百三十四萬圓ゴザイマシタガ、昭和九年ニハ四百二十五萬圓、十年ニハ百三十八萬圓ニナッテ居リマシテ、ソレカラ十一年ニ於テハ今一寸數字ガゴザイマセヌガ、是モ尙ホヤハリ減少ヲ示シテ居ルサウデゴザイマス、斯ウ云フ風ニ著シイ減少ヲ示シテ居リマシテ、此定期取引ニ付テノミ吾々ハ課稅スル、關東局デハ課稅カラ現物取引、是ハ課稅外デゴザイマシテ、今申シタ三ツノ取引ノ中定期取引ガ占メル割合ガ一番少クテ、殆ド取ルニ足ラナイヤウナ金額デゴザイマシテ、大部分ヲ占メル延取引ト現物取引、之ニハ課稅ガナインデゴザイマス、斯様ナ意味デ申シマスト、稅率コソ日本内地ト今殆ド同ジニナッテ居リマスガ、實際ノ負擔カラ申シマスト、大連デハ株ノ取引ニ付テハ稅金ガ課カッテ居ナイト言フテモ宜イ位ナ狀態デゴザイマス、ソレデ實際上今申シタヤウニ稅金ガ課カッテ居ナイト云フヤウナ狀態デゴザイマスカラシテ、稅金ノミノ關係デ若シ證券取引ト云



ノ負債ノ證明ガナケレバイカヌト云フコト  
デ、隨分問題ニナツタノデアリマス、寧ロ私  
ハ斯様ナ四割控除トカ、二割控除トカ云フ  
コトデナク、其人ノ負債全部ヲ控除スルト  
云フコトガ公平ナル理由ガアルト思ハネバ  
ナラヌ、何故ナレバ此所得稅ト云フモノ  
ハ、其人ノ所得ニ依ツテ賦課スルノデアリ  
マスルカラ、借金ガアツタ場合ニハ是ハ所  
得ニナラヌ、ソレダケ所得ガ少クナル、ダ  
カラ借金全體ヲ引イタラ宜クハナイカト云  
フ議論ガ大分アツタノデアリマスガ、是ハ  
實行困難デアルト云フ御答辯モアツタノデ  
アリマス、併シ實行ハ此位容易ナモノハナ  
イト私ハ思ヒマス、自分ニ借金ガアルカラ  
ト言ツテモ、之ニ貸シタト云フ人ガナケレバ  
ナラナイ譯デ、是ハ誰々カラ金ヲ借りリテ居  
ル、此人ガ誰々ニ貸シテアル、斯ウ云フコ  
トデ兩方貸借關係ガ成立シテ居ル、ソレヲ  
所得ト看做スノデアリマスカラ、借金シテ  
居ル人ノ所得ガ引ケル代リニ、貸金ノアール  
ナノ方ノ所得ガ殖エル、何ニモ實行上困難  
ナコトハナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマ  
ス、殊ニ今回ハ暫定的ニ一年ノ申ト云フノ  
デアリマスカラ、ドウシテモ考ヘナケレバ  
ナラナイト思ヒマスガ、寧ロ私ハサウ云フ

ヤウニシテ、若シ暫定的ノモノナラバヤハ  
リ今マデノ通リニ四割引ナラ四割引デ、サ  
ウシテ根本的ノ公平ナ所ニ持ツテ行クト云  
フコトガ至當デハナイカト思ヒマス、私ハ  
實行非常ニ容易ナルモノダト考ヘテ居リマ  
スガ、實行困難ト云フ所ヲモウ少シ伺フテ  
見タイト思ヒマス

レデ是ハ只今事容易ダト云フヤウナ御話ガ  
アリマシタガ、中々事容易デハゴザイマセ  
ヌ、相續稅ノヤウナ一年ニ決定致シマスル  
件數ノ極メテ少イモノデゴザイマシテモ、  
最モ困難ヲ極メルノハ負債ノ調査ノ問題デ  
ゴザイマシテ、果シテ其負債ガアルノカド  
ウカト云フコトガ、常ニ納稅者ト稅務署ト  
ノ間ノ紛議ノ種ニ相成ルノデゴザイマス、  
ソレニサウ云フヤウナ立法ヲ致スノデアリ  
マスナラバ、餘程此金融機關、其他ノ金ヲ  
貸ス方面ニ向ヒマシテ稅務署ガ徹底的ニ調  
査權能ヲ持チマシテ、負債ノ存在、其利子  
ノ支拂ト云フモノヲ徹底的ニ調査致シマセ  
ヌケレバ、是ハ到底實行出來ナイノデアリ  
マス、サウ云フコトハ非常ナ混雜ヲ來ス原  
因ト相成ルト思フノデゴザイマス、今日ニ  
於キマシテモ良クナイコトデゴザイマス  
ルガ、相續稅ニ付テ負債ガアルカドウカト  
云フコトヲ銀行ニ尋ネマスト、銀行ハ納稅  
者ト打合ヲ致サナケレバ回答ヲシナイト云  
フモノガアリマス、又納稅者ト聯絡ヲシマ  
シテ全然虛偽ナルコトヲ言フ者ガゴザイマ  
ス、隨テ負債ノ存在、負債ノ利子ノ控除ト  
云フモノハ、稅務署モ實際ニ調ベルニ當リ  
マシテハ非常ナ困難ナ問題デアリマス、ソ  
レデゴザイマスルカラ、先般來太田委員力

ラモドウモ負債ノ利子ヲ引クト云フガ、稅務署ハ一向引イテ吳レヌ、斯ウ云フコトハイカヌト云フコトデ色々御尋ガアツタノデアリマシテ、今日實際問題トシテ一番官民相互間ニ於キマシテ困ヅテ居ルト思ヒマスルノハ、此負債ノ利子ノ控除ノ問題ダト思フノデアリマス、ソレカラ負債ノ利子ヲ控除シタ方ガ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、ソレデアレバ株式ノ配當ニ對シ何割ト云フ控除致ス必要ガナイト思フノデゴザイマシテ、ソレデアルナラバヤハリ全額ヲ課稅スル、サウシテ負債ノ利子ヲ引ク、斯ウ云フコトニ行クノガ一番理想的的デアラウト思フノデゴザイマス、是ハ昨日モ川崎サンカラノ御話モアツタノデアリマスルガ、サウ云フコトヲサレタノデハドウモ稅務署ハ一向負債ノ利子ヲ引イテ吳レナイカラ非常ニ困ル、斯ウ云フ御話デアツタノデアリマスガ、サウ云フ御話モ實ハ此負債ノ利子ノ調査困難ト云フコトニ關聯致シマシテ、納稅者トシテ御尤ナ所モアルト思フノデゴザイマシテ、今回ハ一應ノ暫定的ノモノデゴザイマスルカラ、旁々四割控除ヲ二割控除ニ致シタ次第デザイマス、ソレデハ斯ウ云フ暫定的ノ際ニサウ云フ控除

斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ負債利子ノ控除ノ問題モツノ理由デハゴザイマスガ、ソレニ付テハ大正九年ニ負債利子モ何モ控除シナイデ、此金額ニ對シテ課稅スルト云フ案ヲ大藏省ハ衆議院へ提出致シタルト云フ案ヲ大藏省ハ衆議院へ提出致シタノデゴザイマス、其際ニ負債ノ利子ト云フ問題モゴザイマシタガ、寧ロ主タル原因ハ負擔ガ非常ニ激増ヲスルト云フコトカラシテ、暫クハ多少ノ控除ヲシタ方ガ宜カラウト云フコトデ、衆議院ニ於キマシテハ二割控除、其爲ニ生ズル所ノ減收ハ會社ニ對シ課稅スルト云フコトニ致シマシタ所ガ貴族院ニ於キマシテハ之ヲ四割控除ニ改メマシテ、會社ニ對スル課稅ヲ更ニ增加致シタノデゴザイマス

〔委員長退席、服部委員長代理著席〕  
サウ云フ次第デゴザイマシタノデ、モウ既ニ負擔ノ激變ノ問題ガ生ジマシテカラ十六七年モ經ツノデゴザイマスノデ、今回ニ於キマシテ此程度ノ——ソレモ一方ニ於キマシテハ「バット」モ引上ゲル、砂糖モ增稅スル、酒モ增稅スル、斯ウ云フ際アリマスノデ、此株式ノ控除率ト云フモノハ多過ギルト云フコトデ、之ヲ此程度ニ引上ゲマスコトハ、是ハ株式所有者ニ於カレテモ私ハ敢テ苦情ヲ言ハレル所ノ理由ハアルマイト、斯

ウ考ヘテ居リマス次第デゴザイマス

○堀内委員 只今ノ御答辯ノ中ニ稅務署デ

嚴密ニ普段負債ノ有無ヲ調べナケレバナラ

スト云フ御話モアリマシタガ、左様ナコト

ハ少し如何カト思ヒマス、負債ト云フモノ

ハ貸シタト云フコトガアッテ借リタト云フ

コトガ成立ツノデアリマスカラ、若シ兩方カラ祕密ニシテ負債ガアルトカナイトカト云

フコトヲ申出デナイト、ソレハモウ稅務署

トシテハ如何トモスルコトガ出來ナイ、デ

スカラ貸シタト云フ者ガアッテ、借リタト云

ケ者ガアルノデアッテ、兩方カラ申請サセル

ト云フコトニナリマスレバ、稅務署ト云フ

モノハ知ラヌ顏ヲシテ居ツテモ、モウソレダ

ケハチヤント分ツテ來ルノデアリマス、ソコ

デ只今私ノ四割控除ヲ殘シテ置イタラ宜イ

デヤナイカト云フコトハソレガ十何年前カラ

衆議院ニ出サレタト云フ政府案ガ私ハ一番

宜イト思フ、寧ロ負債ガナクテ株ヲ持ツテ

居ル人ハ全部所得ニ取ラレルコトハ當然デ

マシテ此程度ノ——ソレモ一方ニ於キマシ

テハ「バット」モ引上ゲル、砂糖モ增稅スル、

酒モ增稅スル、斯ウ云フ際アリマスノデ、

アリマス、ソコデ借金ノ議論ヲスルノデハ

アリマセヌガ、ヤハリ財界、事業界ノ發展

ヲ期スルト云フコトニハ借金モ必要デアリ

マス、金ガナケレバ株モ買ハヌ、又何モシ

ナイト云フヤウナコトデハ事業界ハ一向發

展ヲ來サヌト思ヒマスカラ、借金ハ惡イモ

ノデハアリマスルケレドモ、又發展スル上ニモ必要ガアルモノデアルカラ、サウ云フ

ヤウナコトカラ其困難ナ事情モ何モナイト

私ハ考ヘテ、寧ロ根本ニ戻ツテサウシテ、衡

平ナ案ヲ立テタ方ガ宜イノデハアルマイ

カ、ソコ迄行カナイ途中ノ暫定的ノモノデ

アルナラバ、寧ロ四割ヲ動カサズニ、ヤハ

リ、其儘ニ或ル期間ヲ置イテ、サウシテ根

本的ナ案ヲ立テル方ガ宜クハナイカ、斯ウ

ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、是ハ御

スカラ貸シタト云フ者ガアッテ、借リタト云

ケ者ガアルノデアッテ、兩方カラ申請サセル

ト云フコトニナリマスレバ、稅務署ト云フ

モノハ知ラヌ顏ヲシテ居ツテモ、モウソレダ

ケハチヤント分ツテ來ルノデアリマス、ソコ

デ只今私ノ四割控除ヲ殘シテ置イタラ宜イ

デヤナイカト云フコトハソレガ十何年前カラ

衆議院ニ出サレタト云フ政府案ガ私ハ一番

宜イト思フ、寧ロ負債ガナクテ株ヲ持ツテ

居ル人ハ全部所得ニ取ラレルコトハ當然デ

マシテ此程度ノ——ソレモ一方ニ於キマシ

テハ「バット」モ引上ゲル、砂糖モ增稅スル、

酒モ增稅スル、斯ウ云フ際アリマスノデ、

アリマス、ソコデ借金ノ議論ヲスルノデハ

アリマセヌガ、ヤハリ財界、事業界ノ發展

ヲ期スルト云フコトニハ借金モ必要デアリ

マス、金ガナケレバ株モ買ハヌ、又何モシ

ナイト云フヤウナコトデハ事業界ハ一向發

展ヲ來サヌト思ヒマスカラ、借金ハ惡イモ

ヲ引クト云フコトハ幾多紛議ノ種ヲ拵ヘテ

居ル現狀デアル、斯フ云フコトダケハ一ツ

十分御諒解ヲ得タイト思フノデゴザイマス

○小山委員 委員長、一寸關聯シテ一

言……

○服部委員長代理 小山君

○小山委員 負債ノ株式ノ控除ヲ全然許サ

ナカッタト云フ時ノ案ハ、法人ニハ課稅ヲシ

ナイ、是ト兩々相俟ツテ全部控除シナイト

云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、是ハ御

スカラ貸シタト云フ者ガアッテ、借リタト云

ケ者ガアルノデアッテ、兩方カラ申請サセル

ト云フコトニナリマスレバ、稅務署ト云フ

モノハ知ラヌ顏ヲシテ居ツテモ、モウソレダ

ケハチヤント分ツテ來ルノデアリマス、ソコ

デ只今私ノ四割控除ヲ殘シテ置イタラ宜イ

デヤナイカト云フコトハソレガ十何年前カラ

衆議院ニ出サレタト云フ政府案ガ私ハ一番

宜イト思フ、寧ロ負債ガナクテ株ヲ持ツテ

居ル人ハ全部所得ニ取ラレルコトハ當然デ

マシテ此程度ノ——ソレモ一方ニ於キマシ

テハ「バット」モ引上ゲル、砂糖モ增稅スル、

酒モ增稅スル、斯ウ云フ際アリマスノデ、

アリマス、ソコデ借金ノ議論ヲスルノデハ

アリマセヌガ、ヤハリ財界、事業界ノ發展

ヲ期スルト云フコトニハ借金モ必要デアリ

マス、金ガナケレバ株モ買ハヌ、又何モシ

ナイト云フヤウナコトデハ事業界ハ一向發

ヲ見タ譯デゴザイマス

○堀内委員 今回ノ有價證券ノ移轉税ノ増稅ニ付キマシテ、御取上ニナル金額ハ大體六百萬圓ト云フヤウニ伺ッテ居リマスガ、現在取引高ハ非常ニ殖エテ參リマシテ、平均ノ倍額以上ニモ達スルヤウナ狀況デアル、是ハ中々六百萬圓ヤ一千萬圓ノ程度デハアルマイト思フノデスガ、此増稅ヲ御實行ニナツテ、六百萬圓以上千萬圓以上ニモナルト云フヤウナ、サウ云フ增收ニナリマスト、是ハ更ニ又來ルベキ御改正ノ時ニ税率デモ御引下ニナツテ、サウシテ大體豫定ダケノ增收ガアレバ宜シト、斯ウ云フヤウナ御考ガアルノデアリマセウガ、又或ハ幾ラデモ取レ、バ澤山取フテ收入ヲ増シタガ宜イト云フコトニナルノデアリマセウカ、其點ノ御腹案ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 有價證券移轉税ノ御話デ

ゴザイマスルガ、是ハ最初ニ見積リマシタノガ一千萬圓程見積ッタノデゴザイマス、ソレニ比シマシテ、税率ヲ大分輕減致シテ來タノデゴザイマシテ、之ニ依リマシテ、マア六百萬圓程度ノモノガ取レルダラウカ、取レナイダラウカ、多少懸念致シテ居ッタノデゴザイマス、今ノ取引ガ非常ニ增加シテ居ルト云フ御話デゴザイマスルガ、委託ニ

ト、サウ增收ハアルマイ、斯ウ思ッテ居ルノデゴザイマス、尤モ只今御尋ニ相成リマノ倍額以上ニモ達スルヤウナ狀況デアル、是ハ中々六百萬圓ヤ一千萬圓ノ程度デハアルマイト思フノデスガ、此増稅ヲ御實行ニナツテ、六百萬圓以上千萬圓以上ニモナルト云フヤウナ、サウ云フ增收ニナリマスト、是ハ更ニ又來ルベキ御改正ノ時ニ税率デモ御引下ニナツテ、サウシテ大體豫定ダケノ增收ガアレバ宜シト、斯ウ云フヤウナ御考ガアルノデアリマセウガ、又或ハ幾ラデモ取レ、バ澤山取フテ收入ヲ増シタガ宜イト云

キマシテ、餘程是ハ訂正モシ、修正モ致サナケレバイカヌ場合ガ起ラウカト思フノデゴザイマス、サウ云フ際ニ、本稅ノ收入ガ明年アタリ餘程相違致シマシタ場合ニ於テハ、適當ニ考慮致サネバナラヌカト存ジマス

○堀内委員 モウ一つ實物市場ト清算市場ノ取引ニ對シテ課稅ヲドウスルカ其事ヲ一寸伺ッテ置キマス、先日私が關聯質問ヲ致シタ場合ニ、實物市場、即チ場内取引ト場外取引トノ等差ガアルヤウニ伺ッタノデアリマスガ、是ハ手數料ヲ取引所デ取フテ居ルカラ、場内取引ノ方ヲ安クシテアルト云コトノ御答辯デアリマシタガ、ソレハモウソレデ分リマス、但シ清算市場ニ於ケル實物ノ受渡ニ對シテ萬分ノハラ取ルト云フコトニナツテ居リマスルガ、此實物市場ト清

依リマスル分ハ皆此課稅ノ外ニナルノデゴザイマシテ、ソレ等ノ點カラ考ヘマスルノデゴザイマス、尤モ只今御尋ニ相成リマノ倍額以上ニモ達スルヤウナ狀況デアル、

算市場トニ等差ヲ設ケタト云フコトヲ御伺

モ申上ゲタト思フノデゴザイマスガ、清算

市場ニ於テ清算取引ヲ行ヒマシテ、其結果

シタインデアリマス、殊ニ取引所ノ納入ノ

手數料ハ、實物ヨリモ清算市場ノ方ガ高イ

ト、サウ增收ハアルマイ、斯ウ思ッテ居ル

ノデゴザイマス、其上又取引稅ノ負擔等モア

シタ此稅金ガ非常ニ增收ニ相成フタラ一體

ドウスルカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスルガ、是ハ寧ロ私ノ心配シテ居リマスルノハ執行上ノ問題デゴザイマシテ、此稅ヲ執行致シマシタ關係上色々紛議ノアッタ際ニ於キマシテ、餘程是ハ訂正モシ、修正モ致サナケレバイカヌ場合ガ起ラウカト思フノデゴザイマス、サウ云フ際ニ、本稅ノ收入ガ明年アタリ餘程相違致シマシタ場合ニ於テハ、適當ニ考慮致サネバナラヌカト存ジマス

○石渡政府委員 實物市場ニ於キマスル移轉ヲ特ニ稅率ヲ低ク致シマシタノハ、實物

市場ハ有價證券ノ賣買ト云フモノヲ目的ト

シテヤツテ居ル、清算市場ニ於キマシテハ實物ノ受渡ハ全體ノ六%アルカドウカ、斯ウ云フ程度ノモノデアルノデゴザイマシテ、

實物ノ受渡ヲスル賣買ハ主トシテ實物市場ニ於テ行ハレル、斯ウ云フコトガ一ツアル

ノデゴザイマス、ソレト例ノ、只今アナタノ仰シヤイマシタ實物市場ノ手數料ノ問題、斯ウ云フ關係カラシマシテ、稅率ヲ低ク致シマシタ次第デゴザイマス

○堀内委員 其實物市場ト清算市場ノ課稅ニ等差ヲ置イタ、其理由ヲ伺ヒタイノデアリマス

○松隈政府委員 有價證券移轉稅ニ於キマシテ、實物市場ト清算市場トニ於テ稅率ヲ

區別致シマシタ理由ニ付キマシテハ、先日

チ現物店ニ参リマシテ、有價證券ヲ取得シタ場合ニ第二種乙ノ稅率ガ課ルノデアリマス、其時ニ於テ清算行爲ニ對シテハ取引稅スルガ、清算取引ヲ行ヒマシテ、其結果實物受渡ニ終リマシタ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ現物店デ買ツタ場合ト同ジ稅率デ課稅シテ差支ナイ、斯ウ考ヘタノデアリマス、其時ニ於テ清算行爲ニ對シテハ取引稅ガ課ツテ居ルデハナイカト云フコトガ言ハレルト思フノデアリマスガ、是ハ清算行爲ニ對シマスル稅デアリマス、其清算行爲ニ對シマスル稅ダケ餘分ニ課ルト云フコトハ、現在ニ於キマシテモ清算取引ニハ稅ガアッテ、場外ノ現物店デ買ヘバ稅ガナインノデアリマスカラ、其關係ハ今度有價證券ノ移轉稅ガ出來マシテモ、從來ト鈎合ハ變ラナイト存ジテ居ル次第デゴザイマス、實物市場デ買付ケマシタ時ノ稅率ヲ低ク致シマシタノハ、實物市場ニ掛ケマスル爲ニハ手數料ヲ出サナケレバナラナイ、其手數料ノ點ヲ考慮致シマシテ、稅率ヲ幾分低目ニ致シマセヌト云フト、實物市場デ買付ケルト云コトヲ避ケテ、場外ノ方ニ行クト云フ結

果ヲ生ジテ、是デハ實物市場ヲ寂レサセルト云フヤウナコトニ相成ル虞ガアリマスノデ、差等ヲ設ケタヤウナ次第デアリマス  
**○堀内委員** 私一寸御尋致シタイトノデスガ、實物市場ト、清算市場ノ第二種ノ甲ト乙ニ分レルノヲドウシテ分ケタカ、其點ヲ簡單ニ御説明願ビタイト思ヒマス、實物市場ト清算市場ト、其御取扱ガ萬分ノ四ト八トナツデ居リマスガ、場内取引ト場外取引、實物市場ト現物商トノ問題ハ先日伺タノデ結構デアリマスガ、更ニ實物市場ニ對シテ清算市場ノ方ガヤハリ倍ニナツテ居リマスガ、ソレニ付テ伺ヒタイ

**○松隈政府委員** 取引員ガ有價證券ヲ取得致シマス場合ハ第一種ノ稅率ナンデゴザイマス、隨テ普通ノ者ガ有價證券ヲ取得致シマス場合ハ第二種デゴザイマス、是ガ現物店デ買ヒマシテモ、清算取引ノ結果、引渡シヲ受ケマシテモソレハ乙ニナリマス、ソレカラ普通ノ人ガ取引員ニ委託シテ實物市場デ買付ケマスト、現物店ト違ッテ手數料シテ稅率ヲ安クシタノデアリマス、ソレカ居ル、高イ所モアレバ安イ所モアッテ、一向一定シテ居リマセヌ、ソレデモ千三四百萬圓ニナツテ居ルカノヤウニ聞イテ居リマスラモウ是ハ御承知ト思ヒマスガ、清算市場ノ取引ニ於キマシテ、實物ノ引渡シヲ受ケルト云フ時ニハ、別ニ手數料ヲ要シナイノ

デアリマス、ソレデ現物店デ買ッタト同ジク第一種乙ノ稅率デ課稅スル、デアリマスカラシテ第二種ヲ甲ト乙ト分ケマシタノデスケレドモ、是ハ總テ取引員ニ適用ガアルノデハナクシテ、普通ノ人ノ買フ場合ノ稅率デアルト云フコトニ御考下サツテ、サウシテ其普通ノ人ガ手數料ガ要ラナイ時ハ總テ乙——其手數料ガ要ラナイ時ト申シマスノハ、現物店若クハ清算行爲ノ受渡シ、ソレカラシテ特ニ手數料ヲ付ケテ賴マナケレバナラナイト云フ場合ガ、實物市場ノ買付ケデゴザイマスカラ、此方ハ稅率ヲ安クシタト云フ譯デゴザイマス

**○堀内委員** 有價證券ノコトハ其點デ止メテ揮發油稅ノコトニ付テ一寸御伺致シマス、斯、今回御設定ニナリマシタ揮發油稅ハ燃料國策ノ爲ニヤルノダト云フヤウナコトデアルノデアリマスガ、實ハ自動車稅ト、揮發油稅ト云フヤウナモノハ同ジ性質ノモノデアリマス、殊ニ自動車稅ハ雜種稅デアリマシテ、地方デ非常ニ是ハ不公平ニナツテ居ル、高イ所モアレバ安イ所モアッテ、一向一定シテ居リマセヌ、ソレデモ千三四百萬圓ニナツテ居ルカノヤウニ聞イテ居リマスラモウ是ハ御承知ト思ヒマスガ、清算市場ノ取引ニ於キマシテ、實物ノ引渡シヲ受ケルガ、是ハ將來自動車稅ノ如キハヤハリ國稅ニ致シテ、之ヲ統一致ス方ガ宜イデヤナ

イカ、勿論雜種稅トシテ是ハ地方ニ相當ノ財源ニモナツテ居リマセウガ、今回ノヤウナ地方交付金モ出マスルヤウナ時期ニ、地方稅ノ改正モ行ハレルヤウデアリマスカラ、斯ウ云フ機會ニ於テ實際國稅ニ統一サレテ是ハ増徵ヲ圖ル爲バカリデハナク、燃料ノハ、現物店若クハ清算行爲ノ受渡シ、ソ然ラバ其收入ヲマダ日本ニハ道路ナドガ鋪装ニナラナイ所モ隨分澤山アリマシテ、「ガソリン」ナドヲソレガ爲ニ非常ニ空費シテソリン」ナドヲソレガ爲ニ非常ニ空費シテ居ル場合ガ多イノデアリマスカラ、此稅金ヲサウ云フ方ニ廻シテ、道路ノ修築ニデモ充テルト云フヤウナコトニスルコトガ宜カラウ、サウナレバ當業者モ敢テ反對モシナイデアラウト思ヒマスルガ、之ニ付テ御伺シタイト思ヒマスルノハ、此雜種稅ヲ國稅ニ統制爲サルヤウナ御考ガアリマスカ、ドウニスカ其點ヲツ承リタイ

**○石渡政府委員** 私モアナタノ仰シヤルヤウニ此自動車稅ヲ統一セヌケレバイカヌト思ツテ居ルノデゴザイマシテ、只今御示シノ

**○堀内委員** ソレデハ一時私ノ質問ヲ保留致シマシテ、他ノ方ニ願ツテ、商工省ノ方ガ御見エニナリマシタラ、ホンノ簡単デスカラ後デソレダケ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

**○服部委員長代理** ソレデハ堀内君ノ質問ハ此程度デ止メマシテ、アトハ保留致シマスコトニ取計ヒマス、次ニ岸田正記君ニ發言ヲ許シマス

○岸田委員 色々御尋シタイコトモアッタ  
ノデアリマスガ、大體他ノ委員諸君ヨリ既  
ニ御問盡シノコトデアリマスカラ、私ハ極  
ク簡單ニ一言御尋シタイト思ヒマスガ、私  
ノ缺席シタ時ニ既ニ御尋ニナツタ方ガアル  
カモ知レマセヌノデ、甚ダ煩ラ重ネルコト  
ニナルカモ分リマセヌガ、大切ナ問題デア  
リマスルカラ、御尋致シマスガ、此臨時利  
得税ヲ、此法案ニ依リマスルト、昭和十三  
年ノ末マデ延長スル、斯ウ云フ風ニナツテ  
居リマスケレドモ、其後ニ於テハ當然臨時  
利得税ハ廢止爲サル御意向デアルノカ、或  
ハ如何ニ御考ニナツテ居リマスルカ、此點ヲ  
一言御伺致シマス

○石渡政府委員 岸田サンカラノ御尋ニ對  
シテ御答致シマス、臨時利得税ハ一體ナラ  
バ、昭和十二年デ終ルノデゴザイマスガ、  
ソレデハ若シ明年案ヲ立テマシテ御審議ヲ  
願フ、斯ウ云フ最中ニ消滅シテシマッテハ  
如何カト思ッタモノデアリマスカラ、取敢  
ズ一年延期ヲ致シタノデアリマス、是ハ昭  
和四、五、六ノ三年ノ所得ト比較致スノデ  
アリマスカラ、或ハサウ六年モ七年モツ  
テ行クト云フ譯ニハ行クマイカト思ツテ居  
ルノデアリマス、政府ハ最初是ハ當分ノ中  
施行シタイト思タノデアリマスガ、ソレ

ヲ三年間ト云フコトニ制限ヲ置カレタノデ  
アリマシテ、此點ハ一つ明年度ニ於キマシ  
テ税制ノ審議ヲ致シマス際ニ、臨時利得税  
ヲ一體ドウシタモノダラウカ、存置スル、  
シタイト存ジマシテ、實ハ取敢ズ一箇年ダ  
ケノ延長ヲ致シタヤウナ次第デアリマス  
○岸田委員 只今承リマスト云フト、此稅  
法ヲ如何ニ今後取扱フテ行クカト云フコト  
ニ付テハ、未ダ確定の御方針ガ決定シテ  
居ナイヤウニ承ツタノデアリマスマスガ、  
成程此稅法ノ課稅ノ基準ハ以前ノ收益狀態  
ヲ基準ニサレテ居ルノデアリマスカラ、將  
來ニ於テハ是ハ餘程考ヘラレナケレバナラ  
ヌ事情ニ、今日ノ經濟界ノ趨勢カラ致シマ  
シテモ遭遇致シテ居ルト私考ヘルノデア  
リマスケレドモ、今回ノ臨時増徵法案ヲ御  
出シニナルニ當ツテ此目安ノ付イテ居ナイ、  
将来如何ニ取計フカト云フコトニ付テハッ  
キリ御方針ノ決ツテ居ナイ、此臨時利得税  
ニ對シテハ増徵ノ途ヲ取ラレテ、而シテ一  
面ニ於テ法人ノ超過所得税ハ依然トシテ現  
行法ノ儘ニ据置カレルト云フコトニ付キマ  
シテハ、ソコニ何等カノ理由ガアルノデア  
ルノデアリマス、政府ハ最初是ハ當分ノ中  
ヒマス

○石渡政府委員 昭和十二年ニ於キマシテ  
ハ、臨時利得税ハ勿論存シテ居ルノデゴザ  
期シテ行キタイ、斯ウ云フ法律案ヲ提出致  
得税ヲ廢メテ、ドウシテ臨時利得税ヲヤッ  
タノカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、超  
過所得税ハ先般來屢、御説明致シマシタ如  
ク、既ニ今日ノ税率ガ相當高率デアリマシ  
テ、會社ガ——殊ニ資產狀態ノ餘リ良クナ  
イ會社ガ非常ニ苦痛ト致シテ居ル稅金デア  
リマス、隨テ此方ノ增徵ハ如何カト思ツテ、  
之ヲ差控ヘマシテ、サウシテ臨時利得税ヲ  
増徵致シタノデアリマスガ、臨時利得税ヲ  
増徵致シマシタコトハ、是ハ基準ハ昭和  
四、五、六年デゴザイマスガ、併ナガラ今  
日ニ於キマシテハ、尙ホ軍需會社、其他ノ  
方面ニ於キマスル跛行的ニ儲ケノ多イト云  
フモノガヤハリ相當繁昌シテ居ルノデゴザ  
イマス、ソレデ此方面ニ對シマシテハ臨時  
利得税ヲ創設シタ時分ト同様ノ考ヲ以チマ  
シテ、今日ニ於キマシテモ此方面ノ擔稅力  
ヲ捉ヘテ宜カラウカト思ツタモノデゴザイ  
マスカラ、此臨時増徵案ニ依リマシテ増徵  
スヤウニ、超過所得税ヲ納メル者ニ於テ  
ハ、事實ニ於テ其資產ノ狀態内容ニ於テ、

○岸田委員 色々御尋シタイコトモアッタ  
ノデアリマスガ、大體他ノ委員諸君ヨリ既  
ニ御問盡シノコトデアリマスカラ、私ハ極  
ク簡單ニ一言御尋シタイト思ヒマスガ、私  
ノ缺席シタ時ニ既ニ御尋ニナツタ方ガアル  
カモ知レマセヌノデ、甚ダ煩ラ重ネルコト  
ニナルカモ分リマセヌガ、大切ナ問題デア  
リマスルカラ、御尋致シマスガ、此臨時利  
得税ヲ、此法案ニ依リマスルト、昭和十三  
年ノ末マデ延長スル、斯ウ云フ風ニナツテ  
居リマスケレドモ、其後ニ於テハ當然臨時  
利得税ハ廢止爲サル御意向デアルノカ、或  
ハ如何ニ御考ニナツテ居リマスルカ、此點ヲ  
一言御伺致シマス

○岸田委員 只今石渡政府委員ノ御説明  
デ、次ニ來ル稅制ノ根本改革ノ際ニ於テ  
ハ、臨時利得税竝ニ超過所得税相共ニ如何  
ニ取扱フカト云フコトニ付テハ、慎重ナル  
考慮ニ依ツテ其方法ヲ決定シタイト思フ、

斯ウ云フ御考デアリマスルカラ、今回ハ全  
ク臨時的ナ意味合ニ於テ、此法案ノ如ク扱  
ハレタト云フコトニ對シテハ諒ト致シマス  
ガ、唯私共ガ考ヘマスノニ、超過所得税ト  
臨時利得税トハ全然其稅ノ趣旨ヲ異ニ致シ  
テ居ルノデアリマシテ、前ノ馬場案ノ場合  
ニハ、臨時利得税ニハ手ヲ付ケズシテ、超  
過所得税ヲ增徵サレル方法ヲ執ラレタ、今  
度ハ超過所得税ハ其儘ニシテ置イテ、臨時  
利得税ニ於テ増徵スル方法ヲ執ラレタト云  
フコトノ動機ニ於テ、兩者ガ何レニ依ツテ  
モ増徵ノ趣旨ヲ達スル上ニ於テハ同じモノ  
デアルト云フ意味合ノモノデハ斷ジテナイト  
ト思ヒマスノデ、此超過所得税ニ對シテノ  
将来ノ根本ノ御考ヲ承ツテ置キタイト思ヒ  
マス、今日御説明ニ依ツテモ明カデアリマ  
スヤウニ、超過所得税ヲ納メル者ニ於テ  
ハ、事實ニ於テ其資產ノ狀態内容ニ於テ、

テ居ナイ者ニ課ル傾向ガアルカラ、特ニ法  
人ニ於テ多少重課ノ誇サヘアル狀態ニ於  
テ、此超過所得稅ハ見合シタノデアル、斯  
ウ云フ御說明デアッタヤウニ承ッタノデアリ  
マスガ、サウ致シマスト、ヤハリ此事情ハ  
將來ニ於テモ同ジ傾向トモ考ヘ得ルノデア  
リマスケレドモ、私共ノ考ニ依リマス、  
成程今日マデハ此超過所得稅ヲ課ケラレテ  
居ル者、是ハ先日モ其御話ガアッタカト思  
ヒマスケレドモ、隨分資本金額ノ少イ者ガ  
主トシテ課ケラレタ傾向ガアル、例ヘバ昭  
和九年ノ統計ニ見テモ、二萬七千ノ超過所  
得稅ヲ課ケラレテ居ル、法人ノ中ニ於テ十  
萬圓以下ノ資本金ノ者ガ二萬七千ノ中デ二  
萬五千モ數ヲ占メテ居ル、斯ウ云フ小資本  
ノ者ガ主トシテ超過所得稅ヲ納メテ居ル傾  
向ニアルニ鑑ミテモ、此稅ヲ增徵シテ居ル傾  
向ニアルニ鑑ミテモ、唯茲ニ考ヘナケレバ  
デアリマスケレドモ、唯茲ニ考ヘナケレバ  
ナラヌコトハ、斯ウシテ新ニ法人資本稅ガ  
設ケラレマシテ、隨テ此資本ノ額ノ上ニ課  
稅ガサレルヤウニナッタ結果ハ、從來トハ  
此間ノ事情ガ多少違フノデハナイカ、要ス  
ルニ超過所得稅ヲ免レテ居タ法人ハ實際  
ノ所得ガ少イガ故ニ、言換ヘレバ、經營成

績其モノガ宜シクナイガ故ニ、此稅ヲ免レ  
テ居タト云フヨリモ、寧ロ其處ニ合法的  
ニ脫稅ト申シマセウカ、此稅ヲ免レルコト  
ニ幾多ノ手段ガ盡サレテ居タ、例ヘテ申  
シマスルト、軍需工業ノ如キニ於キマシテ  
モ、隨分ト利益ヲ舉ゲテ居ルガ、併シソレ  
ヲ殆ド配當ニ持テ行カナイデ、設備ノ擴  
張デアルトカ云フ方面ニドン／＼ト資本ヲ  
注込ンデ行クノデ、隨テ急速ニ少クモ満洲  
事變以來ニ於キマシテハ、斯ウ云フ方面ノ  
會社ノ資本、動產不動產ニ於テノ資本ト云  
フモノガ大キナ金額ニナッテ來テ居ルノデ  
アリマス、其結果ガ勢ヒ資本ニ對シテノ利  
益率ト云フモノガ低クナッテ居ルト云フコ  
トハ、是ハ相對的ノ率ノ低サデアッテ、絕  
對的ノ利益ヤ所得額カラ云フト隨分ト上々  
得稅ニハ課カラナイヤウニ結果ニ於テモナ  
テ居ル、今言ッタヤウナ意味ニ於テ超過所  
得稅ニハ課カラナイヤウニ結果ニ於テモナ  
リ、或ハサウ云フ風ニ意圖的ニモ之ヲ仕組  
シニ居ルヤウナ傾向ガ隨分アルノデアッテ、  
事實ハ超過所得稅ヲ納メナイ會社ニ、今ノ  
ヤウナ有力ナ、課稅ヲシナケレバナラヌヤ  
ンデ居ルヤウナ傾向ガ隨分アルノデアッテ、  
ナラヌコトハ、斯ウシテ新ニ法人資本稅ガ  
設ケラレマシテ、隨テ此資本ノ額ノ上ニ課  
稅ガサレルヤウニナッタ結果ハ、從來トハ  
ウナ性質ノモノガ隨分ト多イノデアリマ  
ス、ソレガ今度法人資本稅ガ設ケラレタ結  
果ハ、多少此事情ガ緩和サレテ來ルノデハ  
ルニ超過所得稅ヲ免レテ居タ法人ハ實際  
ナイカ、此點ヲ私共ヘ見ルノデアリマス

ガ、隨分ト法人ノ利益ト云フモノハ近年大  
キナ金額ニナッテ來テ、昭和六年ニ於テ七  
億圓デアッタモノガ、昭和十年ニ於キマシテ  
ハ十五億圓ノ會社ノ利益ガ舉ガラレルヤウ  
ニナッテ來テ居ルト云フ數字ハ、此間モ御  
説明ガアッタノデアリマスガ、私共ガ見マ  
スノニ法人ノ利益ガ殖エテ來タ、會社ノ所  
得ガ殖エテ來タト云フコトハ、是ガ日本ノ  
全體ノ產業ガ普遍的ニ好景氣ヲ呈シ、經濟  
事變以來ニ於キマシテハ、斯ウ云フ方面ノ  
會社ノ資本、動產不動產ニ於テノ資本ト云  
フモノガ大キナ金額ニナッテ來テ居ルノデ  
アリマス、其結果ガ勢ヒ資本ニ對シテノ利  
益率ト云フモノガ低クナッテ居ルト云フコ  
トハ、是ハ相對的ノ率ノ低サデアッテ、絕  
對的ノ利益ヤ所得額カラ云フト隨分ト上々  
得稅ヲ課ケレドモ、一般的ノ事業界ガ好成績  
ニナッタ爲ニ、今ノヤウナ昭和六年ニ比  
テ云フ御話デアリマス、又超過所得稅ハ  
モ此事ハ臨時利得稅ニ於テハ先づ十三年末  
マデ延長サレルト云フコトニナッタケレド  
モ、其後ノコトハ未ダハッキリシテ居ナイ  
ト云フ御話デアリマス、又超過所得稅ハ  
其儘ニ今据置カレテ、又將來ニ付テハ考慮  
シヨウト云フ御考ノヤウニ承ッタノデアリ  
マス、併ナガラ今ノヤウナ跛行景氣ト云フ  
モノハ今年ヤ來年デ以テ終ルノデハナカラ  
ウ、日本ノ今日ノ政治情勢、國防充實ノ非常  
ナ推進力ヲ持ツ方面ノ力強イ主張、是等ノ  
情勢カラ割出シテ見マスルト、當分今日ノ  
跛行景氣ト云フモノハ續クノヂヤナイカ、  
特ニ財政ノ膨脹モ尙ホ今後モ續ケラレル意  
味ニ於テ、隨テ公債ノ増發ト云フコトモ免  
レナイ狀態デアレバ、ソコニ輸入超過ト相  
俟ツテノ爲替安ト云フコトモ當分免レ得ナ  
イ情勢デハナイカ、隨テ輸出工業方面モソ  
コニ相當ノ牽制緩和ノ方法ハ執ラレルニシ

發展、特ニ又爲替安ニ乘ジテ輸出工業方面  
ニ於テ豫期セザリシ大キナ收益ヲ舉ゲテ來  
ルヤウニナッテ來タ、是等ノコトガ今日ノ  
法人ヲシテ非常ナ所得ヲ全體カラ見レバ舉  
ゲルヤウニナッタ所ノ主ナル原因デアッテ、  
他ノ一般ノ產業界全體ガ平均シテ業績ガ斯  
ノ如ク倍以上好クナッタト云フコトハ、考  
ヘ得ラレナイ狀態デアルノデアリマス、而  
モ此事ハ臨時利得稅ニ於テハ先づ十三年末  
マデ延長サレルト云フコトニナッタケレド  
モ、其後ノコトハ未ダハッキリシテ居ナイ  
ト云フ御話デアリマス、又超過所得稅ハ  
其儘ニ今据置カレテ、又將來ニ付テハ考慮  
シヨウト云フ御考ノヤウニ承ッタノデアリ  
マス、併ナガラ今ノヤウナ跛行景氣ト云フ  
モノハ今年ヤ來年デ以テ終ルノデハナカラ  
ウ、日本ノ今日ノ政治情勢、國防充實ノ非常  
ナ推進力ヲ持ツ方面ノ力強イ主張、是等ノ  
情勢カラ割出シテ見マスルト、當分今日ノ  
跛行景氣ト云フモノハ續クノヂヤナイカ、  
特ニ財政ノ膨脹モ尙ホ今後モ續ケラレル意  
味ニ於テ、隨テ公債ノ増發ト云フコトモ免  
レナイ狀態デアレバ、ソコニ輸入超過ト相  
俟ツテノ爲替安ト云フコトモ當分免レ得ナ  
イ情勢デハナイカ、隨テ輸出工業方面モソ  
コニ相當ノ牽制緩和ノ方法ハ執ラレルニシ

關係カラ言フト、ヤハリ經濟界ニ於ケル跛行  
景氣ト云フモノハ當分續クノデアラウ、斯  
ウ見ルノデアリマスガ、是ハ東京ノ稅務監督  
局管内ニ於テノ百萬圓以上ノ會社ノ中デ、  
軍需工業會社、輸出工業會社、金融會社及  
ビ一般會社ノ四種類ニ分ケテノ、代表的ノ  
會社三十會社ニ付テノ實際ノ課稅ノ實績カ  
ラ調査シタト云フ統計ヲ私共先日モ見マス  
ルノニ、最近ニ於テモ軍需工業方面ハ平均  
シテ代表的ノ三十社ガ二割二厘カラノ所得  
ヲ舉ゲテ居ル、輸出工業ハ一割七分、斯ウ云  
フヤウナ高率ナ所得ヲ舉ゲテ居ルノニ對シ  
テ、金融會社方面ハ一割五分、一般ハ一割一  
分ト云フヤウナ率ニナッテ居ル、併ナガラ是  
ハ平均ノ率デアリ、其平均ノ率ニ於テモ今  
ノヤウナ格段ノ差ガアルノデアリマスケレ  
ドモ、個別的ニ之ヲ考ヘルト、隨分トマダ  
大キナ所得ノ利幅ノ違ヒガアッテ、中ニハ  
軍需工業ノ如キハ三割幾分ト云フ純益ニ當  
ルモノヲ舉ゲテ居ルノモ相當數ガアルト云  
フコトガ、調べテ見ルト現レテ居リマス、斯  
ウ云フヤウナ情勢ガ今言ツタヤウナ日本ノ  
財政實情、國防實情ニ即シテ考ヘルト、尙  
未當分續クシ、隨テ跛行景氣ガ熄マナイモ

モ「イデオロギー」カラ言ツテモ、餘程考ヘナケレバナラヌ問題デハナイカ、私共ハ法  
人重課ト云フコトヲ全面的ニ忌避スベキモ  
ノデハナイ、法人ニ相當ノ擔稅力ガアリ、  
又個人ト法人トノ關係ニ於テソコニ負擔ノ  
不均衡アリトスレバ、之ヲ是正シ、擔稅力ア  
ル所ニ此稅ヲ求メルト云フコトハ、今日ノ  
日本ノ財政ノ實情ト致シテ當然ノコト、考  
ヘマスケレドモ、唯全體的ニ見テ法人ガ成  
績ガ良イカラ、法人ニ相當重課シテモ宜  
イ、昭和六年ニ於テ七億圓ノ利益ヲ舉ゲテ  
居ツタノガ、昭和十年ニ八十五億圓ニナッテ  
居ルノデアルカラ、擔稅力ガ相當アルカラシ  
ラ、法人ニハ相當重課シテモ宜イト云フ大  
マカナ觀察デハ、其實情ニ於テ隨分ト矛盾  
ガ今ノヤウナ點カラ來ルノデアルカラシ  
テ、ソヨニ今日ノ時局ニ於テ、國民全  
體ガ稅ノ上ニ於テノ非常ナ犠牲ヲ覺悟シ  
ナケレバナラヌ場合、又大衆カラ申シマ  
シテモ、物價ノ騰貴ト云フコトガ非常ニ目  
ニ見エ又稅トシテノ國民ノ消費ノ上ニ  
實質的ノ稅トシテ生計費ノ上ニ負擔ヲ掛  
ケラレテ居ル、斯ウ云フ場合ニ當ツテ殊ニ  
考ヘナケレバナラヌコトハ、出來得ル限  
リ、此時局、此財政事情、之ニ依ツテ多クノ

來得ル限り、今日ノ財政ノ負擔ヲ覺悟スベ  
キデアッテ、出來得ル限り此時局ニ依ッテ特  
ニ惠マレテ居ナイ方面ノ國民大衆ニ多クノ  
課稅ガ及ブト云フコトハ、他ニ避ケ得ル方  
法ガアレバ、是ハ出來ルダケ避ケルコトガ  
當然デアルト云フ意味合カラ參リマスルト  
云フト、今ノ法人ノ所得ガ非常ニ殖エテ居  
ル此内容ヲ具サニ檢討致シテ、サウシテ其  
時局ニ依テ惠マレテ居ル軍需工業ノ方面デ  
アルトカ、輸出工業方面デアルトカ云フ方  
面ニ、稅ノ負擔ノ多クヲ求メテ、唯法人ナ  
ルガ故ニ重課スルト云フヤウナコトハ出來  
ルダケ避ケナケレバナラヌ、是ハ無論政府  
當局ニ於テモ十分御考慮ノ上デ、御考ヲ將  
來ニ實現サレルコトデアラウトハ思ヒマス  
ケレドモ、今ノヤウナ超過所得稅ノ如キ  
ハ、法人資本稅ニ依フテ相當今迄ト事情ノ  
變ツタ、實際ニ於テ業績ガ良ク、實際ニ於テ  
所得ヲ舉ゲテ居ルモノ、而モ唯擴張方面ニ  
向ツタガ故ニ、所得率ガ薄クナッテ居ルト云  
フヤウナモノモ、自然此法人資本稅ナドノ  
關係ニ於テ、率ノ上ニ於テ事情ガ變ツテ來  
ルト云フコトニナレバ、茲ニ超過所得稅ハ  
從來ニ於テノ弱味ハナクシテ、相當ニ此資

ルモノハ國稅か課ケテレテ 以テ相當ノ  
增徵ノ見込ガ付クノデアリマスカラ、寧ロ  
臨時利得稅ノ如キ、此比例稅的ノモノヨリ  
モ、超過所得稅ニ於テ之ヲ調節シテ實際ノ  
增徵ノ實ヲ擧ゲテ、サウシテ此時局ニ依テ  
得ル限リ稅ノ負擔ヲシテ、サウシテ一般ノ  
法人重課ト云フコトハ、出來ルダケ避ケ  
ルヤウナ方法ニ致シタイ、或ハ大衆課稅ト云  
フコトハ出來ルダケ緩和サレル方法ニ致シ  
タイト云フヤウニ御説明ニナレバ、茲ニ非  
常ニ負擔ノ衡平ノ上ニ妥當ナルモノニナッ  
テ來ルヂヤナイカト、斯ウ私共考ヘて居リ  
マスガ、超過所得稅ト云フモノニ對シテ、  
今後稅ヲ御引上げニナル考ガアルカ、或ハ  
臨時利得稅トノ關係ニ於テドウ云フヤウ  
ニ釣合ヲ付ケテ行ク考デアルカ、此點ニ付  
キマシテ、率直ニ御所信ヲ一ツ承リタイト  
思ヒマス

○石渡政府委員

員 只今岸田サンノ仰シヤツ

ザイマスカラ、時局ニ依ツテ利得ガアッテ  
モ、サウデナイ場合デモ、是ハ同ジヤウナ  
關係デ課稅ヲ受ケルノデアリマス、ソレカ  
ラ臨時利得稅ハ、昭和四、五、六年ト、今  
日ノ場合トヲ比較致シマシテ、増加致シマ  
シタ部分ノ利益ニ課稅致スノデゴザイマス  
カラ、ソレノ增徵ノ方ガ、アナタノ仰シヤ  
ルヤウナ意味ニ合致スルト、斯ウ思<sup>フ</sup>テ居リ  
マス、ソレカラ將來超過所得稅ト、臨時利得  
稅ト、ドウ按排スペキカト、斯ウ云フ御尋デ  
アリマスガ、是ハ大變難カシイ問題デアリ  
マシテ、餘程能ク考ヘマセヌト、之ヲドウ  
持ツテ行クカト云フコトハ、一寸申上ゲル  
ニハ行カヌカト思フノデアリマス、今暫ク  
一ツ時間ヲ假シテ戴キタイト思フノデアリ  
マス

員會議錄 第十四回 昭和十二年三月十三日

アリマス、必シモ是ハ將來マデヲ見透シテ  
堅實ナル歩ミヲ經濟界ニ取テ居ルトハ私  
ハ、產業ノ發達ニ依ルノダト、斯ウ云フコ  
トヲ屢々仰シヤッタノデアリマス、私共モ洵  
ニ其通リデアラウト考ヘテ居ルノデアリマ  
ス、併シ今日百三億ノ公債ト云フモノハ、  
實ハ私共ハ、七十年ナリ八十年ナリノ日本  
ノ過去ノ實績ニ依ツタノデアルト考ヘテ居  
リマス、然ルニ將來、此百三億ノミナラズ、  
殆ド五十億ナリ、六十億ナリト云フ此ノ大  
キナ公債ヲ七八年ノ内ニ、來ルベキ繼續費  
ノ續ク間ハ公債ヲ募集シナケレバナラヌノ  
デアリマスガ、斯様ナ短イ時間ニ於テ、過  
去ニ於テ圓滿ニ解決シタルガ如ク此種公債  
ガ圓滿ニ公募ガ出來ルモノデアルカドウ  
カ、サウ云フ自信ガオアリニナルカドウカ  
ト云フコトニ付テ先づ大藏大臣ノ御説明ヲ  
伺ヒタイノデアリマス

ト言フヨリモ、ヤハリ軍需工業、其他ノ生産業ガ將來利潤ガ多イト云フコトヲ考ヘテ居ルヤウデアリマス、是ハ何トカ警戒シナケレバナラヌト思ツテ居リマス、公債ハ是ハドウモ株式ヲ持ツ人ト、公債ヲ持ツ人トハ自ラ違ツテ居ルヤウデアリマスガ、併シ大キナ所ニナルト利廻リダケデヤアリマセヌガ、種々ナル事情カラ公債ヲ持ツテ見タリ、株券ヲ持ツテ見タリスルコトニハナルノデアリマスガ、コ、數年ノ間ハ相當ノ公債發行額ヲ要スルコトニ付テハ御考ノ通リデアリマス、公債ノ發行ハ必シモ或ル限度ヲ置イテソレ以上ハ到底無理ダトカ云フヤウニ悲觀スル必要ハ私ハナイト思ヒマス、公債ノ消化ガ出來ルヤウニ色々仕向ケテ行クコト申シマスカ、市場ヲ導イテ行クコトガ出來マスレバ、必シモ無理ナ手段ヲ執ツテ公債ヲ持タセルト云フヤウナコトヲ致シマセヌデモ、相當ナ公債ヲ年々ノ富ノ増加ト云フモノニ依ツテ消化シ得ルヤウニシテ行クコトハ、必シモ不可能デハナイト思フノデアリマス、唯ソレニハ軍需品ノ工業、其他國庫カラ撒布サレル金ヲ巧ク一面ニ吸上ゲルトカ、國民ノ貯蓄ニ振向ケマストカ云フヤ

ウナコトモ必要デアラウト思フノデアリマスシ、同時ニ公債ノ市價ヲ落サナイヤウニ工夫シテ行ク、是ハマア根本ハ國ノ財政ニ對スル信用デハアリマスルケレドモ、ソレニ變リナイト致シテ、色々ナ事ニ依ッテ公債ノ市價ヲ下ラサナイヤウニスル、前途ニ對スル悲觀ヲ持タセナイヤウニスルト云フコトデアリマシタナラバ、相當ナ公債ヲ年年發行スルコトハサウ困難デナカラウト私ハ思フ、又ソレガ難カシイヤウナコトニ今後事情ガナリマシテハ大變デアリマス、ソレデ愈、市場ノ狀況ニ依ッテ公債ノ發行ガ出來ナイト云フ時ニハ、又何カ方法ヲ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、租稅ヤ何カハ或ル限度ガアリマシテ、サウ無暗ニ増微ノ出來ルモノデハアリマセシ、其邊ニ付テハ私共モ出來ルダケ國民ノ負擔ヲ少クシタイ、臨時ニ要スル經費ハ借金デ貯テ行クノモ致シ方ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、寧ロ公債ノ發行ヲ容易ニスルヤウナ方法ヲ執テ行クベキデアラウト思フノデアリマス、ソレハマア今後狀況ニ應ジテ色々ナコトヲ一ツ考ヘサシテ戴イテ施設ヲ致シタイト思ヒマスガ、大體ニ於テ私ハサウ悲觀スルコトハナカラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小山委員 私ガ是カラ御伺シヨウト思ビマスコトニ付テモ進ンデ御説明願ヒマシタノデ、繰返シテ御質問スルコトヲ避ケルノデアリマスガ、詰リ公債ヲ募集シ得ル資源ヲ國民的ニ普遍的ニ置カナケレバナラヌ、普遍的ニ置クノニハドウシテモ産業ノ發達ヲ來サナケレバナラヌ、其產業ノ發達モ今岸田君カラ御質問ノアリマシタヤウニハ跋行的ノ景氣デヤナクシテ、全般ニ普及サセナケレバナラナイ、同時ニ國ノ使フ費用カラ申シマスルト、ドウシテモ跛行的景氣ヲ致シマスルコトハ、少クトモ外國貿易ヲ盛ニスル、或ハ海外ノ投資、少クトモ日本ノ制海權ノ及ブ範圍内ニ於テ投資ヲ盛ニシテ、此產業ノ發達ヲ日滿兩國、或ハ北支、南洋ノ方面ニマデ之ヲ普遍的ニ發達サセナケレニスル、或ハ海外ノ投資、少クトモ日本ノ制海權ノ及ブ範圍内ニ於テ投資ヲ盛ニシテ、此產業ノ發達ヲ日滿兩國、或ハ北支、南洋ノ方面ニマデ之ヲ普遍的ニ持ッテ行クト云フ覺悟ハ、此景氣ヲ普遍的ニ持ッテ行クト云フ覺悟ガ必要デアルト思ヒマス、此普遍的ナ景氣ヲ招來スルニハ、或ル程度マデハヤハリ産業資本ト云フモノヲ大事ニシナケレバナラヌ、産業資本ト云フモノハ事業ニ投資ヲスル一方ニ於テハ株式ニ投資ヲスル、皆株式バナラヌ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ハ之ニ御同感デアリマスカ、ドウデアリマスカ、唯簡單ニ御説明願ヒマス、其次ニ直グ私ハ質問スル點ガアリマス

○結城國務大臣 成ベク普遍的ニ行キタイノデアリマスルガ、是ハ今ノヤウナ景氣力申シマスト、一寸ムヅカシイト思ヒマス、ソレデ或ル方面ニ餘計ニ入リマシタモノヲ

其投資ヲ或ル程度マデ投資シ宜イヤウニ、

吸上ガルトカ、ソレヲ繰リ廻シマシテ、サウシテ全體ニ潤ヒノ行クヤウニト云フヤウノデ、繰返シテ御質問スルコトヲ避ケルノデアリマスガ、詰リ公債ヲ募集シ得ル資源ヲ國民的ニ普遍的ニ置カナケレバナラヌ、普遍的ニ置クノニハドウシテモ産業ノ發達ヲ來サナケレバナラヌ、其產業ノ發達モ今岸田君カラ御質問ノアリマシタヤウニハ跋行的ノ景氣デヤナクシテ、全般ニ普及サセナケレバナラナイ、同時ニ國ノ使フ費用カラ申シマスルト、ドウシテモ跛行的景氣ヲ致シマスルコトハ、少クトモ外國貿易ヲ盛ニスル、或ハ海外ノ投資、少クトモ日本ノ制海權ノ及ブ範圍内ニ於テ投資ヲ盛ニシテ、此產業ノ發達ヲ日滿兩國、或ハ北支、南洋ノ方面ニマデ之ヲ普遍的ニ持ッテ行クト云フ覺悟ハ、此景氣ヲ普遍的ニ持ッテ行クト云フ覺悟ガ必要デアルト思ヒマス、此普遍的ナ景氣ヲ招來スルニハ、或ル程度マデハヤハリ産業資本ト云フモノヲ大事ニシナケレバナラヌ、産業資本ト云フモノハ事業ニ投資ヲスル一方ニ於テハ株式ニ投資ヲスル、皆株式バナラヌ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ハ之ニ御同感デアリマスカ、ドウデアリマスカ、唯簡單ニ御説明願ヒマス、其次ニ直グ私ハ質問スル點ガアリマス

其資本ガ轉廻シ轉廻シテ、又事業ニ投資サレルヤウニスル必要ガアラウト思フノデアリマス、特ニ日本ハ資源ノ少イ國デアリマシテ、若シ資源ガ一旦杜絶サレマシタナラバ、今日大會社デアラテ株ガ高イトカ、配當ガ多イトカ云フ會社ハ、是ハ潰レル運命ニアルモノガ多イ、御承知ノ通リ例ヘバ印度カラ棉花ガ入ラヌ、羊毛ガ入ラヌ、斯ウ云フヤウニナリマシタナラバ、今日ノ會社ト云フモノハ潰レル、サウ云フ傾向、詰リ弱點ヲ持ツ日本ノ會社デアリマスカラ、私ハ或ル程度マデハサウ云フ會社ニ相當ノ保留金ヲ持タセ、其保留金ヲ以テ滿洲ニ於テ羊毛ヲ求メルトカ、或ハ北支ノ方面ニ於テ棉花ノ栽培ヲスル、サウ云フ力ヲ私ハ養ッテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス、デアリマスカラ、サウ云フヤウナ方面カラ行キマシタナラバ、ヤハリ高率所得稅ニ對シテ特ニ累進稅ヲ以テ之ヲイヂメテ、其資本ノ膨脹シテ行クト云フヤウナコトヲ私ハ避ケル必要ガアルト思フ、又或ハ相續稅ノヤウナコトモ無暗ニ累進稅ヲ高クシテ、サウシテ十年、百年デ築キ上ガラレタト云フ大キナモノヲ十年ニシテ倒ス、或ハ數十年ニシテ倒ス、斯様ナヤリ方ハ私ハ相當ニ考ヘナケレバナラヌモノデヤナイ

カト思フ、又同時ニ株式投資ヲ不利ニ爲サシメナイヤウニ、相當ノ控除ヲシテ貰フ餘地ヲ認メル、私ハ茲ニ澤山ノ資料ガアルノデアリマスガ、此資料ヲ一々申上ゲマスト、時間ガ到底許サナイノデアリマスカラ、是ハ大藏當局ニ差上ゲマシテ將來ノ御参考ニ供シタイト思フノデアリマス、ソコデ私ハ或ル程度マデハ大膽ニ率直ニ大藏大臣ハ資本ヲ擁護シ、資本ノ蓄積ヲ盛ンナラシメル云フ政策ヲ私ハ御執リニナルコトヲ希望スルノデスガ、其點ニ付テ大藏大臣ノ御考ハ如何デスカ

○結城國務大臣 資本ノ蓄積、至極贊成デアリマス、併ナガライデメルト云フト甚ダ語弊ガアリマスガ、負擔力ノアル所ニ課稅ヲ爲ス、斯ウ云フ意味デアリマス、ソレカラ株式ヲ持ツト云フコトハ必シモ其事業ニ對シテ持ツ人ダケザヤアリマセヌ、寧ロ此事業ニ對シテ本當ニ參加スルト云フ心持ハ、事業金融ヲ助ケルト云フ側カラ言ヒマスト、社債ニ應ジテ吳レル人ナドガ却テアルカモ知レマセヌ、株式ヲ持ツ人ノ或ル部分ノ心理狀態ト云フモノハ、是ハ利廻デモナク、其事業ニ對スル興味ハ持ツテ居ルガ、ソレハ事業ヲ良クシテ行クト云フ熱意ヤ、何カト云フモノデハナク、主トシテ株ノ値ニ掛ツテ居ルヤウナ工合デアリマシテ、ドウモソコニハ本當ノ事業家即株式ノ取得者ト、是ハ大藏當局ニ差上ゲマシテ將來ノ御参考ニ供シタイト思フノデアリマス、ソコイコトニナルグラウト私ハ心配スルノデアリマス

○増田委員長 小山君ニ御相談シマスガ、大藏大臣ハ本會議ニ提案ノ理由ヲ御説明ニナルノデ、時間ガ切迫シテ居ルヤウデスガ……

○小山委員 私ハ大藏大臣ノ只今ノ意見ニハ反対ノ意見ヲ持ツテ居リマス、是ハ株式取引所ト東京邊リニ居ル一部ノ人ノ話デアリマシテ、全國ノ地方ニ於ケル株式、或ハ地方人ノ取引員ナンカヲ相手ニシナイ人、今日ハ地方デハ段々大キナ産業家ニ統一セタト云フコトベ、馬場大藏大臣ノ理論的ナ、寧ロソレニ行過ギル點ヲ是正サレタコトニ付テハ、私ハ結城大藏大臣ノ執ラレタ御方針ハ大變ニ結構ト思ヒマスルカラ、將來トモ此方針ヲ執ラレマシテ、殊ニ全部綜合スルト云フヤウナコトニナリマスルト、ヨウト云フ積リデ株ヲ持ツテ居ル人ガ相當多イ、寧ロ隠レタルサウ云フ方面ノ人ガ多イ、或ハ銀行ハ地方株ヲ擔保ニ取ラナイ、イ、或ハ銀行ハ地方株ヲ擔保ニ取ラナイ、サウ云フモノヲ持ツテ子孫ノ計ヲ爲スト云フ人ガ相當多イヤウデアリマス、茲ニ相當

ノ御考ヲ持チマセヌト、其邊ニ博奕ヲ打テ居ル人々ヲ相手ニシテ、ソレガ株式、ソレガ事業ダト御思ニナルコトハ私ハ非常ナ言フヤウニモ私ハ言ヘヌカト思ヒマシテ、其邊ニ付テハコンナ風ニ株式ガ盛ニナリマス時ニハ、餘程御考ヲ願ハヌト、餘リニ優遇スルコトニナルト、却テ反動ガ來テエラウナ種類ノ株式ト云フモノヲ地方デ——地方ノ小サナ仕事ニ投資サレテ居ルモノモ相当ニ多イノデアリマスカラ、ヤハリサウ云方ノ小サナ仕事ニ投資サレテ居ルモノモ相当ニ多イノデアリマスカラ、ヤハリサウ云フ地方ニ散在シテ居ル小株主ヲ保護スルト云フ意味カラ、私ハ主張シテ居ルノデアリマス、隨テ斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ十分御考慮ヲ願ヒタイ、又モウ一つノ點ハ是ハ他ノ方カラモ屢々質問サレタコトデアリマシテ、私モ一寸大藏大臣ガ他ノ方ニ御説明爲サレタコトヲ記憶シテ居ルノデアリマスガ、第二種所得稅ヲ源泉課稅ニ還元サレタト云フコトベ、馬場大藏大臣ノ理論的ナ、寧ロソレニ行過ギル點ヲ是正サレタコトニ付テハ、私ハ結城大藏大臣ノ執ラレタ御方針ハ大變ニ結構ト思ヒマスルカラ、將來トモ此方針ヲ執ラレマシテ、殊ニ全部綜合スルト云フヤウナコトニナリマスルト、ヨウト云フ積リデ株ヲ持ツテ居ル人ガ相當多イ、寧ロ隠レタルサウ云フ方面ノ人ガ多イ、或ハ銀行ハ地方株ヲ擔保ニ取ラナイ、イ、或ハ銀行ハ地方株ヲ擔保ニ取ラナイ、サウ云フモノヲ持ツテ子孫ノ計ヲ爲スト云フ人ガ相當多イヤウデアリマス、茲ニ相當

ノ御考ヲ持チマセヌト、其邊ニ博奕ヲ打テ居ル人々ヲ相手ニシテ、ソレガ株式、ソレガ事業ダト御思ニナルコトハ私ハ非常ナ言フヤウニモ私ハ言ヘヌカト思ヒマシテ、其邊ニ付テハコンナ風ニ株式ガ盛ニナリマス時ニハ、餘程御考ヲ願ハヌト、餘リニ優遇スルコトニナルト、却テ反動ガ來テエラウナ種類ノ株式ト云フモノヲ地方デ——地方ノ小サナ仕事ニ投資サレテ居ルモノモ相当ニ多イノデアリマスカラ、ヤハリサウ云方ノ小サナ仕事ニ投資サレテ居ルモノモ相当ニ多イノデアリマスカラ、ヤハリサウ云フ地方ニ散在シテ居ル小株主ヲ保護スルト云フ意味カラ、私ハ主張シテ居ルノデアリマス、隨テ斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ十分御考慮ヲ願ヒタイ、又モウ一つノ點ハ是ハ他ノ方カラモ屢々質問サレタコトデアリマシテ、私モ一寸大藏大臣ガ他ノ方ニ御説明爲サレタコトヲ記憶シテ居リマスカラ、是ハナツタコトヲ記憶シテ居リマスカラ、是ハ持続セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、私ハ之ヲ以テ打切りマス

○結城國務大臣 一寸御答致シマスガ、今日株式ヤ何カノ景氣ノ好イ實情ハ、地方ノ連中ガ買ニ來テ仕方ガナイ(笑聲)是ハ此祟りガ地方ノ資產家トカ、地方ノ銀行トカニ餘程私ハ祟ツテ來ルト思ヒマスガ、本當ニ此事業ノ爲ニ株ヲ持ツテ居ルト云フヤウナ人デアルト宣イノデスガ、サウデナイ、思惑ヲスル連中ガ此頃地方ニ多イ、サウシテ反動ガ來ルト酷イ目ニ遭フ、是ハモウ十分警戒シナケレバナラヌ、中央ノ玄人ガヤッテ居ルト私共ハ損ヲスル人モアリ、得ヲスル人モアルガ、ソレハ構ハヌノデスガ、コシナ時ハ地方ノ人ガヤラレル、其邊ヲ十分御考ヘ下サイ

○小山委員 大藏大臣ガサウ仰シヤレバモウ一言申上ゲマスガ、ソレハ地方ガサウ云

フ風ニ動イテ來タト云フノハ、是ハ建株ヲ目的トシテヤル、是ハ投機デス、此投機ハヤハリ株式ノ取締ヲスルノハ、是ハ寧ロ私ハ「インフレーション」景氣ダト思ヒマス、ダカラ其方ノ國家ノ政策ヲ變ヘテ行クト云フコトガ第一デアル「インフレーション」ヲ防イデ行ク、政府ガ健實ナ方針ヲ採ツテ行ク、何時此財政ガ潰レルカ分ラヌ、何時此國策ガ變ツテ行クカ分ラナイト云フヤウナ、焦躁ト不安ノ氣分カラ何デモ摘ミ取りヲシテ、今ノ中ニ儲ケテ逃ゲテシマフト云フヤウナ氣分ヲ寧ロ助長シテ居ルノデアリマスカラ、其點ニ付テ政府ハ十分御考顧ッタ方ガ宜カラウト思ヒマス、其點ニ付テハ全然考ガ達ヒマス

### ○結城國務大臣 諒致シマシタ

○宮澤委員 私ハ先般大藏大臣ノ御出席ノ際ニ歲入ニ付テ少シ質問シタノデアリマスガ、歲出方面ニ付テ大藏大臣ニ簡單ニ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思フ、今度ノ新稅計畫ノ新稅法ハ恆久的ノモノデアフテ、來年度ノ分ハ更ニ根本的ニ修正シテ出シタイ、而シテ收入ノ増加ト云フコトヨリモ、寧ロ負擔ノ均衡、財政ノ調整ト云フコトヲ主トシテ御考ニナルト云フコトノ御話デアリマシテ、

其時分ニ私ハ來年度ノ凡ソ歲出ノ見込ガ付キマセヌカト言ツタラ、付キマセヌト云フコトデアッタノデアリマスガ、私共ガ色々ナ事情ヲ比較考察致シテ見マスト云フト、

本年ヨリモ來年ハ一層經費ガ殖エルトモ減ルコトハ斷ジテナイ、殊ニ兵備充實ノ方デアリマスガ、臨時費ト致シマシテ——繼續費トシテ、アト五六年續キマスモノデモ、海陸軍各々本年度ヨリモ一億宛バカシ繼續費ガ殖エルノデアリマス、十三年度ニ於テハ——サウ致シマスルト云フト他ニ何カ歲出ヲ節約シ得ルコトガアレバ別デアリマスガ、私等ノ知ル限リニ於テハ二億ノ三億ノト云フ歲出ヲ節約シ得ル方面ハ存ジテ居リマセヌ、殖エルトモ減ルコトハナイト思ヒマス、況ヤ當面ノ繼續費ニ於テ海陸兵備ノ充實費ト云フモノガ現ニ二億萬圓以上ノ支出ヲ目ノ前ニ約束サレテ居ルノデアリマス、サウ致シマスルト云フト、之ヲドウ云フ方面デ、補填ナサルノカ、財源ヲ何處ニ源ヲ以テ御賄ヒニナルノカト實ハ思フノデアリマス、デ多少ノ稅制ノ整理ヲ爲サルト同時ニ、更ニ增收計畫ヲ御圖リニナルダラウト思ヒマスガ、是ハ迫モ全部ガ稅負擔デスルト云フ譯ニハ行カナイグラウト思フ、

大藏大臣ハ十四五億ノ公債ノ應募力ガ殘ツ百萬圓ヲ減ズルト仰セラレマシタガ、再三愕サセタ、結城財政ハ之ニ付テ二億六千九百萬圓、急激ナル變化ナリトシテ社會ヲ驚愕サセタ、結果ハ二億三千萬圓シカ輕減ニ

方法ハ、從來ノヤウナ銀行引受ニナルカ、

云フト、兵備充實費ダケハ來年ハ馬場財政ト同ジコトニナル、或ハソレ以上ニナル、況ヤ先般申上ゲマシタヤウナ風ニ、海軍モ陸軍モ既定繼續費ノ上ニ臨時追加繼續費ト云フモノヲ毎年要求致シテ居ル、今日ノ國際情勢カラ、又軍部ノ主張カラ言ヒマスルト云フト、私ハ此種ノ追加繼續費ト云フモノハ十三年度モ出ルノデハナイカト云フコトヲ思フト、財政ヲ討議シナガラモ實ハ戰慄ヲ覺エテ居ルノデアリマス、見透シガ付カヌト仰シヤルノハ無理ハアリマセヌ、アリマセヌケレドモ、現ニ現前ニ提起サレテ居ル見透シニ依ツテモ此兵備充實ガ海陸大ケデモ一億萬圓ヲ突破スルヤウナコトニ

云フト、兵備充實費ダケハ來年ハ馬場財政ト同ジコトニナル、或ハソレ以上ニナル、況ヤ先般申上ゲマシタヤウナ風ニ、海軍モ陸軍モ既定繼續費ノ上ニ臨時追加繼續費ト云フモノヲ毎年要求致シテ居ル、今日ノ國際情勢カラ、又軍部ノ主張カラ言ヒマスルト云フト、私ハ此種ノ追加繼續費ト云フモノハ十三年度モ出ルノデハナイカト云フコトヲ思フト、財政ヲ討議シナガラモ實ハ戰慄ヲ覺エテ居ルノデアリマス、見透シガ付カヌト仰シヤルノハ無理ハアリマセヌ、アリマセヌケレドモ、現ニ現前ニ提起サレテ居ル見透シニ依ツテモ此兵備充實ガ海陸大關係カラ必ズソコニ問題ガ起ツテ來ルグラウト思フ、公債ガ民間ニ散ラバリマスコトニ依ツテ銀行ガ非常ニ脅威ヲ受ケルト云フコトハ、モウ私方中上ゲヌデモ結城大藏大臣ハ能ク御承知ノコトデアリマス、斯ウ云フコトヲ彼此レ比較致シマスト云フト、是ハ容易ナラヌ稅制改革デアリ、財政關係ヲ茲ニ招來スルト思フノデアリマス、デ一昨日佐藤外務大臣ガ、滿洲ヲ中心ニスル關係ハ、日本ガ積極的ニヤラナケレバ危機ヲ招來スルヤウナ心配ハナイノダト云フ仰セガアッタ、從來軍部當局及ビ總理大臣ガ一觸即發ノ危機ニアルト仰セラレルノトハ非常ナ逕庭ガアリマス、昨日貴族院ニ於テ外務大臣ガ補足ノ説明ヲ爲サレタト云フコトヲ今朝新聞デ拜見致シマシタケレドモ、是ハ積極的ニ危機ヲ招來スルヤウナ態度ヲ執ル

コトハ慎シムベキコトデアルト云フ意味デ  
アルト仰シヤツタケレドモ、ドウモ補足ダ  
カドウダカ私共ハ諒解ニ苦シムノデ、ドウ  
モ私共國民ノ頭ニハ、一觸即發ト云フヨリ  
ハ、佐藤新外相ガ仰シヤル方ガ國民ノ琴線  
ニ觸レルノデハナイカト云フコトモ感ジテ  
居リマス、少クトモ外交的餘地ニ依ラテ此  
國際關係ノ危機ヲ非常ニ修正シテ、國防費  
ノ輕減ヲ圖ルコトガ出來ルト云フコトハ吾  
吾ハ想像ニ難クナイト思フテ居ル、問題ハ此  
處デアリマス、根本的國策ノ立直シデアリ  
マス、平和機構ノ樹立デアリマス、經濟提  
携ノ根本的立直シデアリマス、サウシテ此  
國防費ノ縮小輕減ヲ圖ラザル限リニ於テハ  
國費ハモウ底知ラズニ増加スル、底止スル  
所ヲ知リマセヌ、軍備ガ愈々膨脹シテ、國  
民ハ是ノミデモ所謂經濟界ノ破滅ニナラザ  
ルヲ得ナイト云フヤウナ情勢ニアル、是ハ  
大藏大臣ハ此場合ニ其決心ヲ持テ、御就任  
ニナツタノデアリマスカラ、御考ノコト、  
思フノデアリマスガ、併ナガラマダ御決心  
ハ付イテ居ラヌ、見透シハ付イテ居ラヌト  
仰シヤイマスガ、私ハ此當面ニ示サレタ此  
數字ニ依ラテ見マシテモ、此心配ナキヲ得  
ナインデアリマス、簡單デ宜シウゴザイマ  
スカラ、ソレニ對スル御答辯ヲ聽イテ、將

來重大ナル決意ヲ持テ此財政整理ノ任ニ  
當テ戴キタイ、斯様ニ思フノデアリマス  
ルト、幾ラ財政當局者ト軍部當局者ガ相互  
ニ理解シ合ヒ、所謂抱合<sup>ヲ</sup>相談ヲ致シマ  
シテモ、中々近イ將來ニ於テ歲出方減ルト  
ハ私モ思ヒマセヌ、是ハ外交的手段其他ニ  
依ラヌト考ヘテ居リマスノデアリマス  
バナラヌト考ヘテ居リマスノデアリマス  
ガ、今日ノ情勢ト云フモノハ、中々サウ云  
フヤウナ悠長ナ時デヤナイト云フヤウナ氣  
モ致シマス、併シ此歲計ガ膨脹致シマスニ  
付テ國運ノ發展カラ、サウ急激デナク、サ  
ウシテ其膨脹ノ次第ニ付テ國民ガ理解ヲ  
持テ行<sup>ヲ</sup>吳レルト云フコトニナルト、サ  
ウハ驚カズ、サウ惡影響ヲ及ボスト云フコ  
トモナカラウト思フ、其邊ハ爲政者ニ於テ  
居ルト云フヤウナコトヲ申上<sup>ス</sup>ガルダケニハ  
トガナイダラウカ、サアサウ云フコトニチ  
ルト今具體的ニドウ云フコトヲ私ガ考ヘテ  
熱シテ居リマセヌガ、ソレハ考ヘテ行ケル  
コトガ私ハアル、トスウ思フノデアリマ  
ス、何レ考ガ熱シマシタラ御審議ヲ願フト  
カ、世間ニ批判ヲ乞フトカト云フヤウナコ  
トニ行クグラウト考ヘテ居リマス

○宮澤委員 繰イテモウ少シ御聽キシタイ  
ノデアリマスガ、御急ギノヤウデアリマス  
カラ、私はデ御遠慮致シマス

○增田委員長 川崎末五郎君

○川崎委員 私ハ曩ニ政府ニ御尋致シマス  
ラ、此次ニ稅制ノ整理ヲ致シマス場合ニ於  
イマセヌデシタカラ、政府委員ノ方ノ御諒

フヤウナコトハ致スベキデヤナイト私ハ考  
ヘテ居リマス、又公債モ是ハ發行ノ出來ル  
ヤウニ努メマスガ、其時ノ狀況ニ依ラテ中々  
消化ガ難カシイヤウナコトガ起<sup>ル</sup>テ來ル場  
合モ豫想サレマスカラ、其邊ノコトニ付テ  
コトヲシテ、行政的手段トカ、其他ノコト  
ニ依ラヌト強ヒテ消化ヲ圖ラウトスルヤウナ  
コトハ努メテ避ケタイ、斯ウ考ヘテ居ルノ  
コトアリマスガ、同時ニ又其他ノ方面ニ於テ  
モ何カ此國政ノ上ニ於テ色々考ヘテ行クコ  
トガナイダラウカ、サアサウ云フコトニチ  
ルト今具體的ニドウ云フコトヲ私ガ考ヘテ  
熱シテ居リマセヌガ、ソレハ考ヘテ行ケル  
コトガ私ハアル、トスウ思フノデアリマ  
ス、何レ考ガ熱シマシタラ御審議ヲ願フト  
カ、世間ニ批判ヲ乞フトカト云フヤウナコ  
トニ行クグラウト考ヘテ居リマス

解ト委員長ノ御含ミヲ願<sup>ス</sup>テ置イタノデア  
リマス、三ツノ事項ニ付キマシテ適當ナ機  
會ニ大藏大臣カラ御答辯ヲ願フコトヲ御願  
致シテ居ラタノデアリマス、此事ハ恐ラク政  
府委員カラ大臣ニ御傳ヘ願<sup>ス</sup>テ居ルコト、  
思ヒマスカラ、重ネテ之ヲ説明致スコトヲ  
省略致シタイ、唯要點ハ增稅ヲ爲ス場合ニ  
於キマシテハ、私ハ總テ負擔ノ均衡、地域  
的又人的ニ社會各層、各職業間ニ於テ負擔  
ガ衡平ニナツテ居ルト云フコトノ基礎ガ出  
來テ、初メテ增稅ヲ試ムベキモノデアリテ、  
其基礎ガ出來ズシテ增稅ヲ爲スコトハ甚ダ  
ガ衡平ニナツテ居ルト云フコトノ基礎ガ出  
來テ、初メテ增稅ヲ試ムベキモノデアリテ、  
其基礎ガ出來ズシテ增稅ヲ爲スコトハ甚ダ  
面白クナイカラ、今回ノヤウナ場合ハ已ム  
ヲ得マセヌケレドモ、來ルベキ稅制改革ニ  
ハ此點ヲ十分御考願ハナクチヤナラヌト思  
フノデスガ、此點ハ大臣ハドウ思召シテ居  
ラッシヤルカ、尙ホ新規ノ增稅ヲ企テル場合  
ニ於キマシテハ、特別ナ例ヘバ日本ノ現在  
ノ情勢ニ依リマシテ、或ハ國防ノ充實ノ爲  
ニ軍事費ノ新規ノ必要デアルトカ、其他一  
般國策ノ遂行上、新規事業ノ爲メムヲ得  
ナイ必要ナモノヲ兎ヤ角言フノデアリマ  
セヌガ、平常ノ行政費、政費ト云フモノニ  
於テハ十分ニ切詰メテ、是レ以上切詰メル  
コトハ出來ナイト云フ誠意ヲ政府久國民ニ  
披瀝シテ、サウシテ增稅ヲ求ムベキモノデ

アルト考ヘル、苟モ一般經常費ニ於テ、人シテモ、左様ナ節約、或ハ緊縮スル餘地ガアル場合ニ於テハ先ヅソレヲ擇り出シテ、節約シテ、誠意ヲ披瀝シテ、サウシテ増稅ヲ試ミナケレバナラヌト私ハ考ヘル、隨テ來ルベキ議會ニ於テ稅制改革、恐ラク其場合ニ於テ多少ノ增稅ト云フコトハ隨伴スルノデアリマセウガサウ云々タ意味ニ於テノ負擔ノ均衡、政費ノ節約ト云フコトヲ分考慮シテ貰ハナケレバナラヌト云フコトヲ私共考ヘル、其點ニ付テ大臣ハドウ考ヘテ居ラッシャルカ、ト云フコトガ第一點ノ御尋ノ趣旨デアリマス、次ニ今回ノ臨時租稅增徵法案ト來ルベキ根本的ノ稅制改革ニ付テドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ襄ニ大臣ニ御尋致シタノデス、大臣ノソレニ對スル御答ヲモウ少シハッキリ明瞭ニ致シタイト云フ意味デ、重ネテ其點ヲ御尋致シマシタ、第三ハ此臨時租稅增徵法案ハ政府ノ度々ノ有ユル機會ニ於テノ御聲明ナリ、御答辯ニ依フテ吾々モ是ハ謂ハヽ本年度限リ、差當リノ稅收入ノ增收ヲ圖ル爲ニ出サレタヤウニ吾々ハ伺フノデアリマス、隨ヒマシテ來ルベキ根本的ノ稅制改革案ガ出來レバ此增徵案ハ不用ニ歸スルモノデア

ル、是ハホンノ一年度限リノモノト吾々ハ  
諒解致シテ居ルノデアリマス、左様ナ意味  
ニ於テ是ハ寧ロ當分ノ内ト言ハズニ、ハキ  
リト一年度限り、一年過ギレバ此法律ハ廢  
止シテモ宜イト云フ意味ニ於テ吾々ハ期限  
ヲ付シテモ一向差支ナイト思フノデアリマ  
ス、其點ニ付テ大臣ハドウ思召シテ居ラッ  
シヤルカト云フコトガ第三點デアリマス、  
尙ほ簡単デアリマスカラ此機會ニ於テ一言  
御伺致シテ置キタイ、是ハ私大臣ニ御尋ス  
ル機會ガナカッタノデスカラ、專賣局長官ガ  
政府委員トシテ御臨場ノ時ニ一寸御伺シタ  
ノデアリマス、先ノ馬場案ニ依リマスル  
「アルコール」專賣ニ於キマシテハ、燒酎ヲ  
共ニ專賣ニスルヤウナ案デアリマシタケレ  
ドモ、ソレハ私達餘リ好マシクナイ案ト思フ  
テ居リマシタ、今回ハ幸ニ大藏大臣ノ御英  
断ニ依ツテソレヲ御断念ニナリマシタ、其  
御方針ハ至極吾々モ御英斷ト考ヘソレガ當  
然デアルト考ヘルノデアリマス、將來斯様  
ナ方面ニ付テ專賣ノ場合ニ於キマシテ燒酎  
ナドハ所謂酒精含有飲料——酒稅ノ方ノ全  
體ノ酒類トシテノ御考ハ別トシテ、「アルコ  
ール」トハ切離サレル方ガ宜カラウト思フ  
ノデアリマス、其點ニ付テノ大臣ノ御考ヲ  
此機會ニ御伺シタイト思ヒマス、簡単デア

○結城國務大臣 御質問ノ廉ハ拜承致シテ  
居リマシタガ、今ノ中央地方ヲ通ズル稅制  
改革ヲ行フ際ノ負擔ノ均衡ニ付キマシテ  
ハ、是ハ十分ニ考ヘル積リデ居リマス、經  
費ノ節約ト云フコトハ是ハ洵ニ考ヘナケレ  
バナラヌコトデアリマスガ、中々實行ノム  
ヅカシイコトデアリマス、併シ是ハ出來ル  
ダケ考ヘル積リデ居リマス、ソレカラ今回  
ノ増徵法案ニ御協賛ヲ得マシタトシタ場  
合、此次改正案ノ時ニハソレヲ援用スル氣  
持デアルカト云フコトデアリマスガ、私共  
トシテハソレヲ援用スル意思ハアリマセヌ  
ノデアリマス、御協賛ヲ得タモノニ付テモ  
再検討ヲ要スルモノガ多々アリマスノデ、  
其邊ノ所ハ拘泥シナイデ、一ツ考ヘテ見タ  
イト思ツテ居リマス、ソレカラ十二年度限り  
ト云フコトニ期限ヲ付スル考ガナイカト云  
フ御質問デアリマスガ、サウ致シマスト、  
此間石渡君カラ御答申上ゲマシタヤウナ  
モ斯ウニモ仕様ガナイヤウナ工合デアリマ  
シテ、此次ニ改正案ヲ出シテ御協賛ヲ經ル  
ト同時ニ今度ノ案ガ御協賛ヲ得ナイ場合ニハドウニ  
コトニ行ッタガ宜カラウト、斯ウ思ツテ居リ  
マス、焼酎ノ專賣法案ノコトニ付キマシテ、

将来モ此方針ヲ續ケルカト云フヤウナコト  
デアリマスガ、是ハ篤ト私研究ヲ致シタイ  
ト存ジテ居リマス

○川崎委員 只今御答ヲ戴キマシテ大體諒  
承致シマスガ、三點ノ中臨時租稅増徵法案  
ノ期限ヲ假ニ一年度限リトスレバ、若シ來  
年度ノ次ノ議會ニ於キマシテ、新稅制案ガ  
成立シナイ場合ニ於テ困ルカラト云フ仰セ  
デアリマスガ、此點ニ付キマシテハ石渡政  
府委員カラモ縷々御答辯ヲ伺ヒマシタシ、  
又私ハソレニ對スル私ノ私見モ申上ゲテ置  
イタノデアリマス、是等ハ速記錄ニ依ッテ  
冀クハ御覽ヲ願ヒマシテ、石渡君ノ御意見  
ハ政府ノ御意見トシテ、又吾々議員トシテ  
ノ意見モ一ツ御考ヘ下サイマシテ、一言デ  
申シマスレバ、私ハ日本ノ憲法ノ運用上ニ  
於キマシテ、左様ナ場合ニ於テ、只今大臣  
ノ御懸念ノヤウナ二進モ三進モ行カヌト云  
フヤウナコトデハナイ、ソレドヽ憲法ノ規  
定ニ依ツテ十分ニ私ハ運用ガ付イテ行クト  
云フ考ヲ持ツテ居リマスコトヲ重ネテ明瞭  
ニ致シテ置キマス

○太田委員長 太田信治郎君ニ發言ヲ許シ  
マス

ソリン」ノ課稅ノコトニ付テ、此間大藏當局ニ質問ヲシ、更ニ昨日商工大臣ニ向テ御聽キ致シタ所ニ依リマスト、少シ其間ニ喰違ガアル、之ヲ一點此際御聽キシテ置キタイト思フ、ソレハ揮發油課稅ノ大體ノ方針ハ、「ガソリン」ノ自給自足ト云フコトガ我國ニ於ケル燃料國策ノ一番主ナルモノデアル、ソレニハ現在ノ價格デハ自給自足ノ方針ニ副ハナイ、ソレデ勢ヒ引上ゲルノデアル、更ニ「ガソリン」ノ價格ハ世界中デ日本ガ一番廉イ、デアルカラ少シ位引上ゲテモ擔稅ノ上ニ差支ナインデアル、斯ウ云フ風ニ伺テ居ル、スルト主ナル問題ハ「ガソリン」ノ自給自足ト云フコトヲ助長スルコトガ主ナル問題ノヤウニ私ハ受取ッタノデアリマスガ、前ノ馬場財政ニ於テモサウ云フ意見ガアッタ、ソコデ「ガソリン」ノ自給自足ニ付テ商工大臣ニ問ウタ所ガ、現在ノ「ガソリン」消費量ハ四百六十萬噸デアルガ、其中日本ハ三十八萬噸位シカ出來ナイ、サウスルト一割ニモ達シナインデアルカラ、ドウシテモ石油ノ開發ト云フコト、レニハ先づ向フ七箇年ノ豫定デアル、七箇年経フタツ二百萬噸自給シ得ル見込ダト云

是ハ見込デ確定ノモノデハナイ、段々問詰  
メタ結果、私ト商工大臣トノ質問應答ノ結  
果、凡ソノ見當ハ向フ七箇年ニ二百萬噸出  
來ルト云フ、一方年々ノ増加量ハト見ルト、  
現在ノ消費量ノ約一割ノ四十萬噸デアルト  
云フ、サウスルト年々ノ使用増加ノ量ニモ  
伴ツテ行ツテ居ナイ、所謂今日ノ「ガソリン」  
ニ對スル計畫ハ自給自足ニ非常ニ遠イモノ  
デアル、ソコデ其點ヲ衝クト、ソレハサウ  
デアルガ、七年經ツテ、是デヤツテ行ケヌト  
云フコトニナレバ、其時ニ更ニ增産計畫ヲ  
スル、サウスレバ結局自給自足ガ出來ルダ  
ラウト云フコトデアツタ、サウスルト今此案  
ニ依ル課稅ニ依ツテ「ガソリン」ノ價格ガ騰ツ  
タカラト言ツテ、ソレハ直チニ自給自足ニ  
ナラナイカラ、ドウシテモ數年間延長シナ  
ケレバナラヌ、サウスルト今度ノ課稅ノ目  
的ハ收入ヲ增加スル、其財源ヲ得ル爲ノ目  
的ニナル、今モ外國ノ相場ニ比ベテ餘リニ  
廉イ爲ニ、斯ウ云フモノニ課稅スルノデア  
ル、ト云フコトデアルガ、サウスルト自動車  
業者、及ビ一般ノ「ガソリン」ヲ使用スル所  
ナラヌ、自動車ノ發達モシナケレバナラヌ

ト云フ、一體「ガソリン」ガ安カッタカラ、斯様ニ發達シテ來タモノデアルト思フ、サウスルト零細ナル資金ヲ以テヤコテ居ルヤウナ者ガ、此燃料國策ト云フ美名ノ下ニ增收的ノ數千萬圓ノ金ヲ負擔シナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ甚ダ私ハ氣ノ毒ナヤウニ感ズルノデアリマス、所謂「ガソリン」ノ自給自足ガ國策デアルト云フコトヲ過目商工大臣ハ御話ニナリマシタガ、國策ノ一助ニハ相違ナイケレドモ、此課稅ニ依ル「ガソリン」ノ値上ゲデ、ソレガ直チニ「ガソリン」ノ自給自足ニナルトハドウモ私共ハ受取レナイヤウニ思フ、ソレ迄ノ永イ間負擔ヲサセルト云フコトハ、禁物デアル、然ラバ暫クノ間ニハ其稅率ヲモウ少シ引下ガテモ宜イデハナイカト云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマスガ、其點ハ如何デセウ

來ルダケサウ云フ方策ヲ講ジテ置ク必要ガ  
アルダラウト思ヒマスガ、ソレニハ今ノ揮  
發油ト云フモノ、稅ヲ上ゲルコトガ、ヤハ  
リサウ云フ事業ヲ興ス上ニ於テ必要ナノヂ  
ヤナイデセウカ、必シモ是ハ安イカラ、ソコ  
デ收入ノ目的ニシテ課稅ヲスルト云フダケ  
ヂヤナイ、ヤハリ重點ハ私ハ日本ノ燃料國  
策ト云フモノニ寄與スル上ニ於テ、相當ノ  
揮發油稅ト云フモノヲ賦課スルコトガ必要  
デアラウト、斯ウ思フノデアリマスガ、大  
藏當局ハサウハ申シマセヌデシタカ……  
**○増田委員長** 堀内君ニ申上ダマスガ、商  
工政府委員ニ對スル御質疑方保留シテアリ  
マスガ、只今政府委員ガ見エラレマシタカ  
ラ、此際御發言ヲ許シマス

ラ、ソレハマア已ムヲ得マセヌトシテ、今度消費税ニ於テ五錢、關稅ニ於テ五錢ノ引上ガ實行サレルモノト致シマスレバ、何レ石油業者ノ方カラハ今ノ建値五十一錢ハ六十一錢ニスルト云フコトノ申請ガ必ズ出ルデアラウ、其場合ニ、商工省ニ於キマシテ其十錢ヲ其儘認メテ値段ヲ上ゲテ、是ハ消費者ノ方ノ負擔ニサセルカ、或ハ只今申上ゲマシタヤウナ、今茲ニ市價ヲドウシテモ六十一錢ニ上ゲテ置カナケレバ、石炭液化ノ事業ガ出來ナイ、其製造スル所ノ商品ガ市場デ競争ヲスルトカ云フ問題ハ極ク先ノコデトアル、今サウ云フ問題ハナイノデアリマスルカラ、此十錢ノ値上ハ石油業者ト消費者ト兩方ニ分擔サセベキガ適當デハナイカト思フノデアリマス、併ナガラ何時モ此商工省ノ取扱ハ石油業者ノ言フコトハズン／＼御採用ニナッテ、消費者ノ言フコトハドウモ御採用ニナラナイ、其事ニ付キマシテ、昨年ノ議會ニ於キマシテ、私ハ大臣ニ色々申上ゲタコトガアリマスルガ、昨年ノ四月五錢ノ値上ガアッタ、其時ノ値上ノ理由ハ原油ト運賃ガ高クナッタカラ五錢値上スル、斯ウ云フコトデアッタ、所ガ私共ノ調査ニ依リマスト、成程原油ガ高クナリ、運賃モ幾ラカ高クナッタノデアリマスルガ、

此原油ノ値上リノ中カラ「ガソリン」ハ五一%シカ取レナインデアリマス、残リ四九%石油業者ノ方カラハ今ノ建値五十一錢ハ六十一錢ニスルト云フコトノ申請ガ必ズ出ルデアラウ、其場合ニ、商工省ニ於キマシテ其十錢ヲ其儘認メテ値段ヲ上ゲテ、是ハ消費者ノ方ノ負擔ニサセルカ、或ハ只今申上ゲマシタヤウナ、今茲ニ市價ヲドウシテモ六十一錢ニ上ゲテ置カナケレバ、石炭液化ノ事業ガ出來ナイ、其製造スル所ノ商品ガ市場デ競争ヲスルトカ云フ問題ハ極ク先ノコデトアル、今サウ云フ問題ハナイノデアリマスルカラ、此十錢ノ値上ハ石油業者ト消費者ト兩方ニ分担サセベキガ適當デハナイカト思フノデアリマス、併ナガラ何時モ此商工省ノ取扱ハ石油業者ノ言フコトハズン／＼御採用ニナッテ、消費者ノ言フコトハドウモ御採用ニナラナイ、其事ニ付キマシテ、昨年ノ議會ニ於キマシテ、私ハ大臣ニ色々申上ゲタコトガアリマスルガ、昨年ノ四月五錢ノ値上ガアッタ、其時ノ値上ノ理由ハ原油ト運賃ガ高クナッタカラ五錢値上スル、斯ウ云フコトデアッタ、所ガ私共ノ調査ニ依リマスト、成程原油ガ高クナリ、運賃モ幾ラカ高クナッタノデアリマスルガ、

アルトカ云フモノニナル、然ラバ五錢ノト云フモノハ機械油デアルトカ、礦油デアルトカ云フモノニナル、唯其點ヲ能ク注目シタ、所ガ其時ノ御答ハ他ノ油ハモウ安クテ賣レナイノダ、マルデ捨テモノ同様デ商品ニモナラナイ程安イ、ソレニ負擔サセルト云フコトハ出來ナイ、殆ド四九%ノ他ノ油ハ無價値ノモノデアルト云フヤウナ御答デアッタ、ソレデ「ガソリン」ニ負擔サセル、斯ウ云フヤウナコトデアッタノデアリセラ、今日ニナルト、機械油、礦油セラ、ソレデ「ガソリン」ニ負擔サセルト云フヤウナ他ノ油ガ非常ニ高クナッタ、ソレガ非常ニ暴騰ヲ來シテ「ガソリン」以上ニト云フコトハ無理デアル、デアリマスカラト云フヤウナ者ハ、何レモ安ク買ッテ居ルモノハ取ッテ、其外賣レナイト云フヤウナ油ガ高クナッタノデ、二重ニ利益ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ狀態デアル、現ニ日石會社ナドノ株式ガ爾來段々昂騰ヲ來シテ居ルト云フヤウナ點ヲ見テモ能ク分ル、是ニ於テ想

ヒ起スコトハ先年石油業法御制定ノ時ニ、衆議院モ、貴族院モ附帶決議ヲシタ、此石油業法實行ノ曉ニハ、石油業者ヲ保護シテ、サウシテ多數ノ消費者ニ迷惑ヲ掛ケルヤウナコトヲシテハナラヌ、唯其點ヲ能ク注意シテ本法ヲ實行スベキデアルト云フ附帶決議ガ附イテ居リマスガ、爾來業者ト消費者ノ間ハ、今申上ゲルヤウナ狀態ニナッテ居ル、殊ニ見逃シノナラヌ問題ハ、石油業者ハ屢々先年來協定ヲ致シテ値ヲ吊上ゲテ、其建値ヲ以テ販賣ヲシヨウトシタノデアリマスガ、中々協定ト云フモノハ成立タヌノ他ノ油ハ無價値ノモノデアルト云フヤウナ御答デアッタ、ソレデ「ガソリン」ニ負擔サセル、斯ウ云フヤウナコトデアッタノデアリセラ、今日ニナルト、機械油、礦油セラ、ソレデ「ガソリン」ニ負擔サセルト云フヤウナ他ノ油ガ非常ニ高クナッタ、ソレガ非常ニ暴騰ヲ來シテ「ガソリン」以上ニト云フコトハ無理デアル、デアリマスカラト云フヤウナ者ハ、何レモ安ク買ッテ居ルモノハ取ッテ、其外賣レナイト云フヤウナ油ガ高クナッタノデ、二重ニ利益ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ狀態デアル、現ニ日石會社ナドノ株式ガ爾來段々昂騰ヲ來シテ居ルト云フヤウナ點ヲ見テモ能ク分ル、是ニ於テ想

ト云フト、販賣ノ監督會社デアル、支社ノ協定ヲ完全ニシヨウト云フ所ノ販賣會社、一例ヲ申シマスト、是ハ「カルテル」ノ強制ヲスル會社デアル、ソコデ石油聯合株式會社ト云フモノガ出來マシテ、サウシテ從來ノ石油業者ノ販賣シテ居ル所ノ得意ヲ取調べテ、サウシテ得意ヲ決メテシマッタ、例ヘバ日石ノ油ヲ私ノ所デ買ッテ居タト云フ慣例デアリマスレバ、私ノ會社ハ他ノ所カラ油ヲ買ヘナイ、他ノ所カラ買ハウト思ッテモ賣ラナイ、サウ云フヤウナコトヲ監督シテ、ソレヲ厲行スル會社ナンデアリマス、デアリマスルカラ、モウサウナレバ他ノ會社カラ油ヲ買フコトガ出來ナイノデアリマスガ、伊原五郎兵衛ト云フ人人ハ、此油ヲ買フ人ト、同ジ値段デ、持ッテ行カウト云フコトハ無理デアル、デアリマスカラト云フヤウナ者ハ、何レモ安ク買ッテ居ルモノハ取ッテ、其外賣レナイト云フヤウナ油ガ高クナッタノデ、二重ニ利益ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ狀態デアル、現ニ日石會社ナドノ株式ガ爾來段々昂騰ヲ來シテ居ルト云フヤウナ點ヲ見テモ能ク分ル、是ニ於テ想

當時石油業者ハ申シテ居ルノデアリマス、當時石油業者ハ申シテ居ルノデアリマス、

アナタノ處へ油ヲ上ガタイト思フ、五厘位  
ノコトデ、之ヲ出スカ出サヌト云フコトハ  
決ッタコトデナイカラ、油ヲ出シタイト思フ  
ケレドモ、ドウモ聯合會社ガ居ツテ、斯ウ云  
フコトヲスレバ、オ前ノ所ノ販賣ヲ止メル、  
商賣ガ出來ナクナツテハ困ルカラ、御氣ノ毒  
ダケレドモ送ルコトガ出來ナイト云フコト  
デアリマシテ、僅カ五十一錢ニ對スル所ノ  
五厘ノ違ヒノ爲ニ、油ヲ止メラレテシマッタ  
ト云フ實例モアルノデアリマス、統制ト云  
フコトハ無論必要ナコトデアリマセウガ、  
ソコマデ統制ヲ強行シテ、サウシテモウ愚  
圖愚圖言ヘバ、ソコヘ送ラナイ、賣ラセナ  
イ、是モ消費者ヘ其油ノ値段ヲ轉嫁スレバ  
宜イト云フ轉嫁ノ途モアルノデアリマス  
ガ、之ヲ轉嫁シテ乗車賃ヲ高クスルト云フ  
コトハ、社會大衆ニ迷惑ヲ掛ケルト云フヤ  
シテモ、「ガソリン」ノ値段ヲ高クシタクナ  
イ、安クシテ置キタイト云フコトガ、即チ運  
賃ヲ引上ゲタクナイト云フ結果カラ生ジテ  
來ル、左様ナ狀況ニナツテ居ルコトヲ商工省  
ノ御當局ハ御知リニナツテ居ルカドウカ知  
リマセヌガ、實際サウ云フ狀況デ沟ニ壓迫  
ト云フカ、強制ト云フカ、苦々シイ狀態ニ

ナツテ居ル、ソコデ今回ノ十錢ノ値上ニ對シ  
ノコトデ、之ヲ出スカ出サヌト云フコトハ  
決ッタコトデナイカラ、油ヲ出シタイト思フ  
ケレドモ、ドウモ聯合會社ガ居ツテ、斯ウ云  
フコトヲスレバ、オ前ノ所ノ販賣ヲ止メル、  
商賣ガ出來ナクナツテハ困ルカラ、御氣ノ毒  
ダケレドモ送ルコトガ出來ナイト云フコト  
デアリマシテ、僅カ五十一錢ニ對スル所ノ  
五厘ノ違ヒノ爲ニ、油ヲ止メラレテシマッタ  
ト云フ實例モアルノデアリマス、統制ト云  
フコトハ無論必要ナコトデアリマセウガ、  
ソコマデ統制ヲ強行シテ、サウシテモウ愚  
圖愚圖言ヘバ、ソコヘ送ラナイ、賣ラセナ  
イ、是モ消費者ヘ其油ノ値段ヲ轉嫁スレバ  
宜イト云フ轉嫁ノ途モアルノデアリマス  
ガ、之ヲ轉嫁シテ乗車賃ヲ高クスルト云フ  
コトハ、社會大衆ニ迷惑ヲ掛ケルト云フヤ  
シテモ、「ガソリン」ノ値段ヲ高クシタクナ  
イ、安クシテ置キタイト云フコトガ、即チ運  
賃ヲ引上ゲタクナイト云フ結果カラ生ジテ  
來ル、左様ナ狀況ニナツテ居ルコトヲ商工省  
ノ御當局ハ御知リニナツテ居ルカドウカ知  
リマセヌガ、實際サウ云フ狀況デ沟ニ壓迫  
ト云フカ、強制ト云フカ、苦々シイ狀態ニ

ナツテ居ル、ソコデ今回ノ十錢ノ値上ニ對シ  
マシテ、業者ガ半分、消費者ガ半分負擔ス  
ルト云フヤウナ、何カサウ云フヤウナコト  
デモアルデアリマセウカ、其邊ハ此法案ガ  
通過シテ實施サレ、バ直チニ實際的ニ起ル  
ベキ問題デアリマスカラ、此機會ニ御方針  
ヲ承テ置キタイト思ビマス

○大貝政府委員 種々御話ガゴザイマシテ  
石油聯合ノ設立統制ガ行過ギタ御話モ伺ヒ  
マシタノデアリマス、其事ニ付キマシテハ  
十分注意ヲ致シマシテ、今ノ御話ノヤウナ  
コトノナイヤウニシナケレバナラヌト存ジ  
テ居リマス、實例ノ問題ニ付キマシテモ、  
實際私共モ御話ヲ伺ヒマシテ、其際會社ニ  
或ル程度ノ注意ヲ致シマシテ、大體圓満ニ  
解決シタヤウニ存ジテ居リマス、ソレカラ  
石油會社ガ非常ニ成績ガ好クナツテ居ルノ  
デハナイカ、日石ノ株ノ如キハ云々ト云フ  
御話モアリマシタノデアリマスガ、大體内  
地ノモノニ付キマシテモ、消費稅ハ勿論課  
ノデゴザイマスルガ、尙ほ御諒解ヲ得ラレ  
ナイ點ガアリマシテ、先程太田サンカラモ  
御尋ヲ戴イタ次第デアリマスガ、是ハ先般  
上ガル、斯ウ云フ方針デ行クノデゴザイマ  
シテ、内地ノ方カラ出マスルモノハ相當利益  
ニナルダラウト云フヤウナ見越モアルノデ  
アリマセウシ、又眞實相當利益ニモナルモ  
ノデアラウト思ヒマスガ、ソレ等ノ相當大

キナ見越ガ入ツテ、株ノ値段等モ上ツテ居ル  
ト思フノデゴザイマシテ、非常ナ大キナ利益  
ガアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ  
ス、ソレカラ今度關稅ガ上ル、消費稅ガ課ル  
コトニナツタコトニ付テハ揮發油ノ値段ハ  
ドウナルカト云フコトデアリマスガ、特ニ  
配給關係等ニ於テ無駄ヲ排除スルト云フヤ  
ウナコト、サウ云フ不合理ナコトヲナクス  
ルコトニ依ツテ、配給費等ガ輕減セラレマス  
ル部分ガアレバ、其分ハ兎ニ角ト致シマ  
シテ、大體ノ所關稅ニ依リ負擔が増加シ、  
消費稅ノ増加スル部分ハ油ノ値段ガ上ル  
モノト、斯ウ云フ風ニ御考ヘ戴カナケレ  
バナラヌモノト思フノデアリマス

○石渡政府委員 先般來御說明シテ居ツタ  
石油會社ガ非常ニ成績ガ好クナツテ居ルノ  
デハナイカ、日石ノ株ノ如キハ云々ト云フ  
御話モアリマシタノデアリマスガ、大體内  
地ノモノニ付キマシテモ、消費稅ハ勿論課  
ノデゴザイマスルガ、尙ほ御諒解ヲ得ラレ  
ナイ點ガアリマシテ、先程太田サンカラモ  
御尋ヲ戴イタ次第デアリマスガ、是ハ先般  
上ガル、斯ウ云フ方針デ行クノデゴザイマ  
シテ、内地ノ方カラ出マスルモノハ相當利益  
ニナルダラウト云フヤウナ見越モアルノデ  
アリマセウシ、又眞實相當利益ニモナルモ  
ノデアラウト思ヒマスガ、ソレ等ノ相當大

キナ見越ガ入ツテ、株ノ値段等モ上ツテ居ル  
ト思フノデゴザイマシテ、非常ナ大キナ利益  
ガアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ  
ス、ソレカラ今度關稅ガ上ル、消費稅ガ課ル  
コトニナツタコトニ付テハ揮發油ノ値段ハ  
ドウナルカト云フコトデアリマスガ、特ニ  
配給關係等ニ於テ無駄ヲ排除スルト云フヤ  
ウナコト、サウ云フ不合理ナコトヲナクス  
ルコトニ依ツテ、配給費等ガ輕減セラレマス  
ル部分ガアレバ、其分ハ兎ニ角ト致シマ  
シテ、大體ノ所關稅ニ依リ負擔が増加シ、  
消費稅ノ増加スル部分ハ油ノ値段ガ上ル  
モノト、斯ウ云フ風ニ御考ヘ戴カナケレ  
バナラヌモノト思フノデアリマス

○堀内委員 先日來サウ云フ御説ハ伺ツテ  
居ルノデアリマスガ、假ニアナタ方ノ仰シ  
ヤル、ドウシテモ油ノ値ヲ上ゲナケレバイ  
カヌ、サウシナケレバ内地ノ石炭液化ノ事  
業ハ出來ナイデヤナイカ、石炭液化ハ七十  
錢掛ル、「アルコール」ハ六十一錢掛ル、斯  
ウ云フ説明モアツタノデアリマス、デアリ  
マスルカラ、成程市場ニ於テ六十一錢ノ建  
値ヲ作ラナケレバ、今五十一錢デハソレダ  
ケノ高イ製造費ガ掛カルカラ、權衡ヲ失ス  
ルデヤナイカラ、斯ウ仰シヤルノデアリマ  
スガ、假ニアナタ方ノ仰シヤル通リノコト

トシテ、ソコデ先刻太田君モ其御考ノヤウデアリマシタガ、私ノ申シマスルノモ實ハ石炭液化及ビ「アルコール」ヲ混和シタ所ノ「ガソリン」ガ何時出來ルノダ、ソレガ今直グ此市場ニ出來テ居ル、出來テ居テ「ガソリン」ガ五十一錢デ、ソコニ十錢ノ開キガアルトカ、二十錢ノ開キガアルトカ云フコトナラバ一方ノ品物ヲ市場ニ出セナイ、損ヲスルカラ出セナイ、出セナイカラ値段ヲ上ゲ、同ジ程度ニ持ッテ來テ、サウシテ其方ノ事業ノ成立スルヤウニスルノダト云フコトナラ分ルノデアリマスガ、マダ先ニ一年經ッテ出ルカ、二年經ッテ出ルカ、是カラ會社ヲ拵ヘテ、是カラ工場ヲ拵ヘテ、機械ヲ据付ケテ、サウシテ愈、仕事ヲスルノダト、假ニ是ガ四年掛ルカ、五年掛ルカ分リマセヌガ、ソレガソウデナイトシテモ、一年カ二年先デアルト思ヒマスガ、其石炭液化モ出來ナイシ「アルコール」混和モ出來ナイト云フ時ニ、今カラ値ヲ上ゲテ待テ居ル必要ハナイデハアリマスマイカ、セメ其間ダケデモ安イモノヲ消費者ニ使ハセルト云フコトニシタラドウカ、ソコデ私ノ今申上ゲタノハ、此處デ今ドツチガ困ッテ居ルカト言ヘバ、ドン／＼昨年カラモウ三遍四遍モノ値上デ、「ガソリン」ヲ使テ居

ル所ノ圓タク業者始メ、總テノ自動車業者ト云フモノハ非常ニ負擔ガ多クテ困ッテ居ルノダカラ、一方ニ於テ賣ル方ノ人ニモ此負擔ヲサセタラドウカ、サウスルト市場ノ値段ハ幾ラカ——五錢安イデアリマセウケレドモ、安イケレドモ、ソレハ石炭液化ノ事業ヲサセルニ付テモ今此處デ直グ値段ヲセズト宜イデハナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋シテ居ルノデ、ソレハ石渡政府委員ノ只セズト宜イデハナイカ、斯ウ云フコトヲ御リマスガ、其仕事ガ出來ナイカラ値段ヲ上ゲテヤツテ居ルト云フコトハ、是ハイケナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル、其點ヲモウ一ツ御答辯願ヘレバ結構デス。

○石渡政府委員 本當ハ鑛山局長カラ御答スルノガ至當カト思フノデアリマスガ、私ノ答辯ガ間違テ居リマシタラ鑛山局長カラ御訂正下サルコト、思ヒマスガ、是ハ實際品物ガ出來ナイノニ稅ヲ課ケテ値段ヲ先ニ高クシテ置ク必要ガアルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマスガ、是ハ一方ノ値段ヲ上ゲナケレバ品物ガ出來テ來ナイノデス、ソレハ油ニ致シマシテモ「アルコール」ニ致シマシテモ、サウ急ニ出來ル仕事デハアリマス、此日本ノ國ニ於テ燃料國策ト云フモノノ「ガソリン」ヲ消費シテ居ルノデアリマス、此日本ノ國ニ於テ燃料國策ト云フモノヲ立テル爲ニハ、斯ウ云フ安イ「ガソリン」

テソコデ油ノ値ト云フモノガ六十一錢ナラ六十一錢ト云フモノニナツテ居ルト、隨テ之ヲ標準ニシテ計畫ヲ立テル、斯ウ云フコトニ相成ルト思フノデゴザイマス、ソレデヤハモウ既ニ計畫致シテ始メテ居ルノデゴザイマス、又此「アルコール」ニ致シマシテモアチラコチラデモウ既ニ計畫致シテ居ルノモゴザイマスシ、又既ニ「アルコール」ヲ今日製造シテ居ルノモゴザイマス、絕對ニサウ云フ品物ガ今日世ノ中ニ存シナイ、斯ウ云フ譯デモゴザイマセヌ、各種ノ企業家ガ斯ウ云フ方面ニ頭ヲ向ケテ來ル場合ニ、斯ウ云フコトデハ逆モ此油ノ値段ヲ引上ゲテ置キマセヌト、サウ云フ事業ト云フモノハ興テ來ナイ、色々ナ工夫ト云フモノモ興テ來ナイ、斯ウ云フコトニ相成ルト思フノデアリマス、ソレモ特別ニ我國ノ「ガソリン」製造者ガ出來ルト云フコトハ必然ノ理デス、ソレハ一應御尤、ソレナラバ十錢値上ゲラスレバ皆飛付イテヤツテ行クトスレバ、ソレハ大イニ考ヘナケレバナラヌ、ソレデ私ハ前カラ質問ノ資料ヲ請求シテ居ルノデス、一體幾ラニナレバ——例ヘバ無水「アルコール」ナラバ幾ラナラバ値段ガ引合フ、ソレナラバ「ガソリン」ニ隨行シテ行カレル、若シ石炭液化ナラ幾ラナラバ行カレルカ、斯ウ云フヤウナ見透シガ出來テ居ルグラウ、調査ガ定メシ出來テ居ルダラウト思フカラ、ソレダカラ私ハ資料ヲ提供シテ吳レ

上ゲテ居ルケレドモ、今日マデ其資料ノ提供ガナイ、ソレデ段々私共ガ調査シテ見ルト、マダソコ迄ニハ實ハ行ッテ居ラヌ、安イカラ引合ハナイト云フコトノ爲ニ是ガ上ッタラ引合フグラウ、斯ウ云フ結論デアル、ソレハ商賣シテ居ル者ハ誰デモ利益ノアルモノニハ手ヲ出ス、隨テ十錢上ゲレバ手ヲ出スト云フノカ、十錢デハイカヌカラ二十錢ニシナケレバナラヌ、二十錢デハイカヌカラ三十錢ニシナケレバイカヌト云フノカ、ソコノ所ガ未定デアル、アナタノ方ニサウ云フコトニ付テノ確實ナ資料ガアッタラ出シテ戴キタイ、十錢値ガ上レバ手ヲ出スト云フ、ソレニ付テ参考ニナルヤウナ確タル資料ガアルナラ御示シヲ願ヒタイ、ソレヲ御示シ願ヘレバ、吾々モ成程是ナラバ皆ガ手ヲ出スダラウト納得ガ行ク、唯漠然ト十錢上ゲタラ手ヲ出スダラウト云フ、所謂ダラウ話デ行ツタノデハ、果シテ手ヲ出スカドウカ分ラヌ、ソレカラ安いヽト云フコトヲ頻リニ仰シヤルガ是ハ大變ナ間違ダト思フ、ドウシテ間違カト云フト、兎ニ角石油ト云フモノハ日本デ出來ルモノデハナイ、ソ外國カラ持ツテ來ルモノガ大部分デアル、ソラ、税金ヲ上ゲテ高クシナケレバナラヌト

云フコトニナルト、今度ハ向フガドウ云フ

コトヲ言ッテ來テモ、ソレヂヤ高クテ買へマ  
セ又ト云フコトモ出來ナイノダカラ、ソコ

八能ク考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ立場

アリマスガ、一應御説明申上ゲマス  
○太田(信)委員 説明ハ宜シウゴザイマス  
——御説明ハモウ澤山デスカラ、紙ニ書イタ  
タモノヲ願ヒタイ

○大貝政府委員 サウ云フコトダケニモ行  
キマセヌカラ、一應御話ヲ申上ガタイト思  
ヒマス、ソレハ此間生産費ノ御話ハ御留守  
ダッタカモ知レマセヌガ申上ゲタノデアリ  
マスガ、差當リノ方デハ液化ノ方デ七十錢  
見當、合成ノ方デハ六十三四錢位デ大體出  
來ル見込デアリマス、サウシテソレガ七年  
計畫ノ後ニ於キマシテハ、五十錢臺ニナッ  
テ生産サレルト云フ所マデノ御話ヲ申上ダ  
テ置イタノデアリマス、サウ致シマスト、  
ソレナラバ今直グニモソレデ引合フノカ、  
六十錢ニ普通ノ石油ガナッテ、他ノモノハ七  
千幾錢デ引合ハナイヂヤナイカト云フ御話  
ニナルト思ヒマス、ソコデ液化會社ノ方ニ  
對シマシテハ、政府ノ方カラ生産費ト市價  
トノ足ラナイ部分ヲ補フト云フコトデ、今  
年モ此豫算ヲ計上サレテ出テ居ル筈ダト思  
フノデアリマス、ソレハ今年ハ全然油ガ出  
ナイノデナク、十二年ノ五月ニナリマスト  
二萬四五五千「キロリットル」デアリマスカ供  
マシテ揮發油デハ百萬「キロ」マデ出テ來ル  
ニ居ル者ニ無暗ニ外國ヨリ日本ガ安い、安  
イト云フコトハ言ヒタクナイ、ケレドモ、  
ソレハソーチデサウ仰シヤルナラ仰シヤッテ  
モ宜シウゴザイマス、兎モ角若シ御分リニ  
ナルナラバ其表ヲ示シテ戴キタイ、ソレ  
デナイト結局子供ノ生レナイ中カラ乳ヲ出  
シテ待ツテ居ルヤウナモノデ、子供ガ生レ  
ル時分ニハモウ乳ハ腐ツテシマフ、丁度サウ  
云フヤウニ「ガソリン」會社ガ出來ル時分ニ  
ハ自動車ノ方ガ參ツテシマフト云フコトニ  
ナル、ダカラ今ノ自動車屋ヲ苦シメナイデ、  
自給自足ノ方法ヲ立テラレルコトガ必要ダ  
ト思フ、若シサウ云フ見透シガ出來テ居ル  
ナラ表ニシテ、生産費ガ幾ラ、何ガ幾ラ是  
ダケ上ゲレバ皆手ヲ出スダラウ、是デ手ヲ  
出サナイ奴ハ馬鹿ダ、斯ウ云フ問題ニナッ  
テ來レバ成程ト私共ハ直チニ贊成ヲ表スル、  
スガ、モウ御答辯ハ聽飽キテ居リマスカ  
ラ、數字ニ現ハレタ的確ナル材料ヲ御示シ  
願ヒタイ

譯デアリマス、ソコデ其年度ニ依リマシテ

段々生産費ガ下ツテ行キマスガ、差當リノ所  
生産費ノ方ガ高イ爲ニ、其差額ダケハ政府

ガ補助金ヲヤラウ、併ナガラ其補助金モ之

○大貝政府委員 サウ云フコトダケニモ行  
キマセヌカラ、一應即活ヲ申上デタイトト思

ヒマス、ソレハ此間生産費ノ御話ハ御留守

ダツタカモ知レマセヌガ申上ゲタノデアリ

マスガ、差當リノ方デハ濶化ノ方デ七十錢見當、合成ノ方デハ六十三四錢位デ大體出

來ル見込デアリマス、サウシテソレガ七年

計畫ノ後ニ於キマシテハ、五十錢臺ニナツ

テ置イタノデアリマス、サウ致シマスト、

ソレナラバ今直グニモソレデ引合フノカ、

六十錢ニ普通ノ石油ガナツテ、他ノモノハ七  
千幾錢デ引合ハナイヂヤナイカト云フ御話

ニナルト思ヒマス、ソコデ液化會社ノ方ニ

對シマシテハ、政府ノ方カラ生産費ト市價  
トノ足ラナイ部分ヲ補フト云フコトデ、今

年モ此豫算ヲ計上サレテ出テ居ル筈ダト思

フノデアリマス、ソレハ今年ハ全然油ガ出

ナインテナク  
十二年五月ニナリマフ

給サレルコトニナツテ居リマシテ、年ヲ逐ヒ

マシテ擲發油デハ百萬「キロ」マデ出テ來ル

○大貿政府委員 資料ノ御話モ伺タノデ

○村岡委員 最早時間モ迫リマシタノデ、

私ハ極メテ簡單ニ質問致シタイ、先づ私ガ  
政府委員ニ御尋致シマスルコトハ、個人財  
産税及ビ所得税ノ綜合課税ノ徹底ト云フコ  
トニ關聯ヲ致シテ居ルノアリマスルガ、  
一體租税制度ヲ立テラル、ニ當リマシテ、  
近頃ハ單ニ租税力、負擔ノ均衡ト云フコト  
ヲ目標ニセラル、コトハ、是ハ固ヨリ申ス  
迄モナク必要デアリマスルガ、此外ニ私ハ  
租税制度ガ國民ノ精神的方面ニ及ボス影響  
ニ付キマシテ、之ヲ特ニ考慮スル必要ガア  
ルト思フノデアリマス、即チ思想感情方面  
ニ及ボス影響ヲモ大イニ考ヘテ行カナケレ  
バナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、此點  
ニ付テ大藏省ノ政府委員ノ御所見ヲ伺ヒタ  
イノデアリマス、此關係ハ只今申上ゲマシ  
タ如ク、個人財産税竝ニ所得税ノ二種ノ綜  
合課税ニ關聯ヲ持ツノデアリマスルガ、財  
産税ニ付テハ、前内閣ガ提案サレタモノヲ  
現内閣ハ大藏大臣ガ代々タノデ是ハ撤回ニ  
ナッタノデアリマスルカラ、先づ一應ハ宜イ  
ヤウナモノデアリマスルケレドモ、併シ大  
臣ハ何時迭ルカ分ラヌ、寧ロ是ハ政府委員  
ノ方ニ御尋シタ方ガ宜イト思テ御尋スル  
次第デアリマスルガ、唯吾々ガ學校デ習ッタ  
如ク租税ト云フモノハ負擔力ニ應ズルノ  
ダ、唯一片ノ財産サヘアレバソレヲ取上げ

ルノダト云フ風ナ感ジデ立テラレルケレドモ、中々サウデナイ、國民生活ノ實際ヲ見マスルト、サウ云フモノデハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、個人財產稅ニ付テ考ヘテ見マシテモ、此惡イ點ハ曩ニ木暮委員ニ依テ述ベラレテ居ル通リデアリマシテ、課稅物件ノ捕捉調査ガ困難デアルト云フコト、是ハ實際困難デアリマス、ソレガ第一、第二ニハ其調査ガ出來テモ其評價ト云フコトガ極メテ困難デアル、不動產デモ評價ハ困難デアリマス、其他有價證券デモ單純ナヤウニ見エマスガ、地方ニ住ッテ居ルヤウナモノハ非常ニ困難デアリマス、額面ハアッテモ、價格ハナイ、取引ガナイ、取引所ヘ掛ランイノハ申ス迄モナク、取引ガ殆ドナイヤウナモノ、之ヲ評價スルト云フコトハ殆ド不可能ナコトデアル、隨テ第三ニ官民ノ摩擦ヲ生ズル、是ハ當然ノコトデアリマス、一面ニ於テハ又財產稅トシテ元本ヲ侵蝕スルト云フコトニモナルノデアリマス、是等ノ物質方面ニ於テ宜シクナイト云フコトハ申ス迄モナインデアリマスルガ、私ハ此點ニ付キマシテモ只今申シマス如ク、此個人財產稅ト云フモノガ人情ニ悖リ、

ノデアリマス、凡ソ人間ト云フモノハ  
自分ノ心ノ中ヲ他人カラ見透サレルコ  
トハ好マナイト同様ニ、自分ノ財産即  
チ資産状態ヲ他ヨリ見透サレルト云フコト  
モ一層厭フノデアリマス、嫌フノデアリマ  
ス、是ガ普通ノ人情デアリマス、即チ財産ヲ  
澤山持ツテ居ル者ハ、是ハ寧ロ謙遜ヲ致シ  
マシテ、イヤモウ澤山ハ持ツテ居リマセヌ  
ト言ウテ世間ニ對シテ頭ヲ低クスル、之ニ  
反シテ本當ニ無イ者、世間體カラ見レバ相  
當ニアルヤウニ見エテモ實際ハナイ者ガア  
ルノデアリマス、サウ云フヤウナ者モ、ヤ  
ハリ工面ヲ致シマシテ信用ヲ保ツテ、サウシ  
テ社會活動ヲ營ンデ行ク、是ガ今日ノ世間  
ノ實情デアリマス、之ヲ財產稅ヲ課ケルカ  
ラト言ウテ、稅務官吏ガ來テ個人ノ財產ヲ  
一々調べテ評價スル、前ノ案デハ三萬圓以  
上ノ財產ト云フノデアリマスルガ、三萬圓  
以上ノ財產ガアルカナイカト云フコトハ、  
調べテ見ナケレバ分ラヌ、故ニ極ク下級ノ  
貧乏人ハ別ト致シマシテ、普通ノ暮シヲシ  
テ居ル人ノ財產ヲ皆稅務署ノ官吏ガ調べテ  
見テ、サウシテ三萬圓アルカナイカ、無ヶ  
レバ稅ハ課カラヌケレドモ、要スルニ搔廻  
サレルト云フ結果ニナルノデアリマス、一  
個人ノ家ノ中ニ於キマシテハヤハリ、祕密

ト言ヘバ語弊ガアリマスケレドモ、其内情ニシテ有害デアル、稅ヲ負擔スルコトハ必シモ厭フノデハナイケレドモ、ソレガ爲ニスッカリト家ノ中ノ懷口勘定ヲサラケ出サナケレバナラヌ、曝サレテシマフト云フコトノ苦痛ハ實ニ忍ビ能ハザルモノガアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、此點ガ此財產稅ニ於キマシテ非常ニ社會生活ノ人間ノ感情ヲ害シ、人情ニ反シ社會生活ノ根本ヲ破壊スル所以デアルト私ハ考ヘルノデアリマス今一ツ又斯ウ云フ稅ハ國民道徳ノ根本ニモ反スルノデヘナイカト思フノデアリマス、吾々國民ハ忠實業ニ服シ勤儉産ヲ治メルト云フコトハ、實ニ是ハ個人トシテ道徳上ノ目標デアリマス、汗ニ脂ヲ流シテ勤イテ、サウシテ貯蓄ヲシテ、其貯蓄致シマシタ所ニ依テ一家ノ生計ヲ立て、子女ノ教育ヲヤル、家族制度ヲ維持スル、是ハ洵ニ我國ノ美風デアッテ、國民生活ノ根本デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、之ニ財產稅ヲ課ケテ其一部ヲ取上ガル、斯ウ云フ風ナ感情ヲ國民ニ持タセルト云フコトハ甚ダ宜シクナイ、即チ其結果ハ勤儉ノ美風ヲ害シ、ノデアリマス、現ニアノ財產稅ガ發表サレ

テ以來、ア、モウ少々財產ヲ溜メテモ政府ニ取ラレルカラシテ、モウ是カラハソンナニ財產ヲ溜メル必要ハナイ、享樂ショウナント云フコトヲ冗談ニモ言フノデアリマスガ、左様ニ國民ノ心持ガサウ云フ根性ニナッテ參リマシタナラバ、實ニ是ハ恐ルベキ危機ヲ生ジハシナイカ、即チ國民道德上由々シキ問題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、併ナガラ吾々ハ財產ノアル人カラ稅ヲ取ルコトヲ必シモ不可ト言フノデハナイ、無論アル者ガ出サナケレバ、國政ハ維持出來ナイノデアリマスルカラシテ、同様ノ額ノ租稅收入ヲ圖ルニ致シマシテモ、斯様ナ思想上感情上非常ナ惡影響ヲ及ボス所ノ方法デ取ラナクテモ、他ニ或ハ所得稅ノ累進率ヲ増加スルトカ其他適當ナ方法ヲ以チマシテ、即チ社會生活ニ不安ヲ及ボサズシテ圓滑ニ取ル、納メル人カラ見テ洵ニ氣持好ク納メル、斯ウ云フ方法デ立テラレルノガ本當ノ稅制ノ妙デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、斯様ニ私共ハ考ヘルノデアリマスガ、一體政府委員ノ方ハドウ云フ御考ヲ持テ居ラレマスカ、此點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○石渡政府委員 財產稅ニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、前ノ案ニ於テ計畫致サレタ

財產稅ト云フモノハ、一體今アナタノ仰シヤツヤウナ、サウ云フ財產稅デハナイ筈デアッタノデアリマス、是ハ歐羅巴——獨逸ニ於テ施行サレテ居ルモノニ範ヲ採ッタ模様デゴザイマスガ、極ク低率ナ所得ノ中カラ拂ヘル、斯ウ云フ財產稅デアリマシテ、實ハ財產ヲ沒收スルト云フヤウナ財產稅デモアリマセズ、又財產家ガソレニ依ッテ困ルト云フ程ノ財產稅モアリマセヌ、ソレデゴザイマスカラ、是ハ獨逸ニ於キマシテモ、此財產稅ヲ最初ハ所得補完稅ト、斯ウ云フコトヲ言ツテ居タノデゴザイマス、ソレデアリマスルノデ、唯所得稅ノ補完ヲスルダケダト、斯ウ云フモノデアッタノデアリマシテ、サウ實質上ニ於テ財產ノ一部ヲ沒收スルト云フ風ノモノデハゴザイマセヌカラ、隨テ其點ニ付テハ大分誤解ガアッタヤウデゴザイマス、尤モ一面ニ於テハサクナメル、斯ウ云フ方法デ立テラレルノガ云フコトヲ主張シタ人モアッタヤウデアリマスガ、是ハ唯名前ニ依テ怖ロシガル稅金デハナイヤウニ思フノデゴザイマスガ、本當ノ稅制ノ妙デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、斯様ニ私共ハ考ヘルノデアリマスガ、一體政府委員ノ方ハドウ云フ御考ヲ持テ居ラレマスカ、此點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

財產稅ト云フモノハ、一體今アナタノ仰シヤツヤウナ、サウ云フ財產稅デハナイ筈デアッタノデアリマス、是ハ歐羅巴——獨逸ニ於テ施行サレテ居ルモノニ範ヲ採ッタ模様デゴザイマスガ、極ク低率ナ所得ノ中カラ拂ヘル、斯ウ云フ財產稅デアリマシテ、實ハ財產ヲ沒收スルト云フコト、同ジャウナ關係デアルノデアリマシテ、ソレハ個人ノ財產ト云フモノハ公開致シ惡イモノデアリマスガ、併ナガラ自分ノ内輪ノ懷ヲ皆開ケ放スト云フコトニ於キマシテハ、或ルアリマスガ、併シ此個人ノ財產稅ヲ施行致シマス、併シ此個人ノ財產稅ヲ施行致シマスニ付キマシテハ、一方地租、營業稅、資本利子稅ト云フモノ、關係ヲ一體ドウスルカ、ソレカラ又此財產稅ノ實際ノ施行ニ當ツテ、果シテ不動產稅ニ陥ル心配ガナイカ、是等ノ點ニ付テハ餘程是ハ政究致サルベキ問題ダト思フノデゴザイマス、ソレデゴザイマスルカラ、大正七八年ノ頃ニ此問題ガ起ツタノデアリマスガ、今日ニ至ルマテ實行政サレナイ點デアッタラウト思フノデゴザイマス、今御述ベニナリマシタ御意見ニ付テハ今後ニ於キマスル稅制ノ改正ニシテハ勢ヒサウ云フヤウナ感ジヲ人ニ與ヘテ居リマス

○村岡委員 只今ノ點ニ付キマシテハ無論今後ノ稅制改正ノ爲ニ御参考ノ爲ニ私ハ一慮ヲ願ヘレバ宜シイノデアリマス、殊ニ稅其モノガ惡イト云フヨリモ、稅ヲ取ル爲ニ財產ヲ公表サレル、一軒々々ニ定價表ヲ付ケラレルヤウナ結果ニナルコトガ、國民生活ヲ害スルト云フ意味ヲ私ハ強調スル所以デアリマス、成程一年ニ所得ガ何ボアルト云フコトハ是マデ報告シテ居リマスガ、其所得サヘモ隨分稅務署トノ間ニ感情ヲ害スルノデアリマス、況ヤ財產ノ内情ヲスッカリ打明ケルト云フコトハ、是ハ所謂人情ニ悖ルモノデアルト云フコトヲ私ハ言ツテ置キマス

次ニ有價證券移轉稅ニ付キマシテ、世間一般ノ現物商ト仲買人ヲ認メラレタト云フコトハ先づ宜シト致シマシテ、私ハ其結果ニ付テ、地方ニ居リマスル者トシテ、一ツノ弊害ガアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、昨日來ノ當局ノ御説明ニ依リマスルト云フト、此仲買人ガ客ノ爲ニ、客ノ委託ニ依ツテ買受ケタ場合ニ於テハ、其委託ニ基クモノデアルカラシテ、仲買人ニハ稅ハ掛ケナイト云フ風ナ御話デゴザイマシタガ、斯ウ云フ風ニナリマスト云フト、シタガ、斯ウ云フヤウナ感ジヲ人ニ與ヘ其場合ハ其委託サレタ客カラ直グ取ルノナラバ宜シイノデアリマスガ、客カラ委託ガ

アルト言ウテ現物屋ガ買ツテ居ル場合ニ、又  
リマシテ、先刻大臣ノ御話ガアッタヤウニ、  
地方ノ者ハ此頃株ヲ買フト云フヤウナコト  
ガ非常ニ流行ツテ來マシテ、信用ノナイ地方  
ノ株屋ト云フモノガ、株式ニ經験ノナイ者  
ヲ唆カシテ、ソシテ株ヲ買ハセル、サウシ  
テ其株ヲ渡セバ宜イノデアリマスルガ、買  
付ケタト稱シテサウシテ是ハ又賣タラ儲  
カラウト言フテ其儘自分ノ手ニ置ク、斯ウ云  
フノガ多イノデアリマス、サウ云フ場合ニ  
於テ稅ガ違フ、斯ウ云フコトニナルト尙ホ  
ソレヲ助長シマシテ、アナタノ名義ニスル  
ト是ハ稅ガ高ク取ラレマスカラシテ、私ノ  
方デ買ウタコトニシテ居レバ、是ハ安ク付  
キマスト云フヤウナコトヲ言ウテ、胡麻化  
ス材料ガ多クナルノデアリマス、私ハ之ヲ  
非常ニ虞レルノデアリマスカラシテ、此點  
ハ現物屋ガ客ノ委託ニ依ツテ買ウタノナラ  
バ、其委託者ノ名前ヲハッキリスル、ソレヲ  
シナケレバソレダケハ自分ノ物トナルト云  
フコトノ區別ヲハッキリサシテ置カナケレ  
バナラヌ、此稅法ニ依リマスルト云フト、  
命令ノ定ムル所ニ依リ帳簿ヲ備ヘテ命令ニ  
定ムル事項ヲ記入セシムル帳簿ニハ委託ニ基

ク場合、自己ノ計算ニ基ク場合ト、ハキ  
リト記帳サセルト云フヤウナ方法ニシテ置  
カナケレバ取締ハ付カヌシ、ソレニ依ツテ  
現物屋ヲ本法ノ仲買人ト認メタ弊害ヲ除去  
スル一助トナルト私ハ考ヘテ居ルノデアリ  
マスガ、其點ニ付テハ御考及ビニナツテ居  
リマスルカドウカ、其點ヲ伺ヒタイノデア

數量額面金額又ハ拂込金額若ハ出資金額、  
取得價格及ビ移轉ノ日並ニ其賣渡人ノ住所  
氏名又ハ名稱、賣渡シタル有價證券ノ種類  
數量、額面金額又ハ拂込金額若ハ出資金額、  
額、賣渡價格及ビ移轉ノ日、並ニ其買受人ノ  
住所、氏名又ハ名稱ト云々タヤウナ事項ヲ  
記載サセル積リデアリマス、ソレカラ他人  
ノ委託ニ依リ有價證券ノ賣買又ハ其媒介ヲ

イマシタノデ、地方ノ現物屋ノ取締モ十分  
出来ルコト、考ヘマスカラシテ、私ノ質問  
ハ是デ終了シテ置キマス

○増田委員長 服部君

○服部委員 私ノ御尋シタイト云フ考モ、  
大部分ハ既ニ終了ヲ致シマシテ、殊ニ之ヲ重  
ネテ御尋致シマセヌ、政府委員ノ方ニ先づ  
一ツ御尋ヲ致シマシテ御答ヲ得タ上デ、次ノ

○松隈政府委員 只今ノ御尋ハ有價證券仲買人ヲ申告制度ト致シマシタ爲ニ、地方ニ於ケル現物商ノ中、善クナイ者ガアツテ、客ノ委託ヲ受ケテ買付ケヲ致シマシタ場合ニ於テ、自分ノ名前ニシテ置ケバ安イ税金デ済ムカラト云フヤウナコトヲスル者ガアリハシナイカト云フ御尋ダト思フノデゴザイマスガ、有價證券仲買人ニ對シマシテハ、帳簿ヲ備ヘ附ケテ、取引ニ關スルコトヲ詳細明瞭ニ記帳セシムルコトニシテ居リマス、サウシテ自分ガ持ツ爲ニ取得シタト云フモノト、客ノ委託ニ依フテ買付ケテ、之ヲ客ニ渡シタト云フモノトハ區別シテ記帳セシメルヤウニ致ス積リデゴザイマス、有價證券仲買人ノ備ヘマスル帳簿ニハ大體次ノヤウナ事項ヲ記載サセヨウト思ツテ居リマス、即チ自分ノ計算ニ依フテ賣買スル場合ニ於キマシテハ、買受ケタ有價證券ノ種類、

○村岡委員 能ク分リマシタ、多分サウダラウトハ思ツテ居リマシタガ、色々昨日カラ議論ガアリマシタノデ、疑問ヲ懷イタノデアリマス、今ノ命令ノ要項ヲ御示シ下サ月日及ビ場所、有價證券ノ種類、記號番號及ビ數量、有價證券ノ額面金額又ハ拂込株式金額若ハ出資ノ金額、取得價格、有價證券移轉稅印紙貼用額、是ハ失禮致シマシタ、今ノ有價證券移轉稅印紙貼用額ノ點ハゴザイマセヌ、讓渡人ノ住所氏名又ハ名稱、讓受人ノ住所氏名又ハ名稱、是等ノ事項ヲ記載スルヤウニ命令ヲ以テ定メタイト思ツテ居ルノデゴザイマス、尙ホ稅務官吏ハ有價證券仲買人ノ帳簿ヲ検査スル權限モゴザイマスノデ、適當ニ検査取締シテ參リマスレバ、サウ不正ガ行ハレルト云フコトモナイカト存ジテ居リマス

質問ニ對シテハ大藏大臣ニ御答ヲ御願致ス  
ノデアリマス、政府委員ニ一ツ御尋ラシタ  
イト云フノハ、是ハ事實上ノ問題デアリマ  
スガ、土地所有權ノ移轉ノ登錄稅ニ付テ  
アリマスガ、今日實際ニ移轉登錄稅ヲ貼用  
スル金額ヲ定ムルモノヲ見テミマスルト、  
登記所ニ何處ノ何字ハ大體單價ガ幾ラノモ  
ノデアル、斯ウ云フ標準價格ガアルト見エ  
マシテ、ソレガ常ニ標準トナッテ居ラフテ、其標準  
以上ノ賣買價格デアリマシタル時ハ、登  
記所ガ無事ニ受付ケテ移轉手續ガ終了致  
シマスケレドモ、若シモ其標準價格以下ノ賣買價格デアリマスト、登記所ハ  
所有權移轉ノ手續ヲ許シテ吳レナイノデ  
アリマス、而シテ實際ノ賣買ガ、登記所  
ニ持ツテ居ラル、標準價格若クハソレ以  
上デアルナラバ論ハナイケレドモ、實際ノ  
賣買ガ其標準價格ヨリ非常ニ値段ガ下ツテ

イマシタノデ、地方ノ現物屋ノ取締モ十分出來ルコト、考ヘマスカラシテ、私ノ質問

居ル場合ニ、實際ニ賣買シテモソレヲ認メテ吳レマセヌノデアリマス、ソレヲ認メセシメントスルナラバ、是ハ裁判上ノ手續ヲ要シテ判事ニ特別ナル手續ヲ爲シ、判事ガ特別ナル調査機關ヲ設ケマシテ、而ル後ニ登記ヲ許可スルトカシナイトカト云フ手續ニナツテ居ルノデアリマシテ、其間ニ要スル所ノ日子ハ幾十日ト云フ日子ヲ要スルノデアリマス、デアリマスルカラ遂ニ賣買ヲ致シタル當事者ハ其手續ノ煩ニ堪ヘナイノト、日子ヲ要スルノトニ困リマシテ、遂ニ餘儀ナクモ實際ノ賣買價格デナイ所ノ、登記所ニ豫メ控エラレテ居ル標準價格以上ノ値段ヲ賣買價格トスルニ相當スル移轉稅ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、是ハ洵ニ不合理ノ甚ダシキモノデアリマシテ、私ノ經驗致シタル所ニ依リマスルト、名古屋ニ於テ或ル銀行ガ破産ニ瀕シマシテ、所有權ヲ處分シマシタガ、其時ノ實際ノ問題トシテハ、時價ハ一坪二十五圓、三十圓デモ買手ノナイト云フヤウナ場合デアッタガ、ソレヲ三十圓ノ値段デ數千坪ノ賣買ヲ致シマシタガ、登記所ハ其時價ヲ認メナイノデ、八十圓、九十圓ト云フ登記所ニ豫メ備ヘテアル——而モ其備ヘテアル書類ハ數年前極メテ好況時代ニ、土地ノ勃興熱ノ盛ナ時代ニ作成セラ

レマンタモノト見エマシテ、八十圓、九十圓ト云フ價格ヲ標準トシテ、ソレ以上ノ移轉稅ヲ拂ハナケレバ登記ヲ濟シテヤラナイト云フノデ、大變困ッタ問題ニ私遭遇致シタレバ、實際ノ賣買ハ坪三十圓デ爲シタノスレバ、登記料ヲ納メタ標準價格ハ坪ニモ拘ラズ、登記料ヲ納メタ標準價格ハ坪九十圓ニ見積ラレタ、驚クベキ二倍三倍ノ價格ヲ標準トスル所ヲ印紙稅ヲ納メタ事實ガアルノデアリマス、ソレ等ハ土地ノ不動產ノ賣買ニ即シタルモノデナクシテ、洵ニ當事者ニ取ッテハ迷惑千萬ニ感ズルノデアリマス、何トカシテ此弊害ヲ除キタイト云フコトヲ私共ハ熱望シテ居ル譯デアリマス、尤モ茲ニ又從來ノ慣例デ惡イコトモアス、從來ハ其逆サマニ、實際ハ坪百圓デ賣買致シマシテモ、登記面デハ八十圓位ノ賣買ヲ假裝致シマシテ、サウシテ不正ニ脫稅ノ目的ヲ達シテ居ル慣習モアッタノデゴザルト云、フコトニハ私ハ異議ハアリマセヌガ、併シ其反對ニ、時價ハ坪三十圓ガ相當デアル、ソレデ時價ニ依フテ賣買致シタル其實買ニ於テ、二倍三倍ノ九十圓以上ニ相當時價ト云フモノヲ拂ハシムルト云フコトハ、斯ウ云フコトデゴザイマスカラ、ソレヲ持ッテ居ルコトデゴザイマスカラ、成スルコトハ、是ハマア止ムヲ得ナイカト

ス、斯ウ云フコトノ弊害ニ付テ、當局ハ御承知ガナイノデアリマスカ、御承知ナシトスルナラバ、其實情ヲ篤ト御取調ニナリマス、適切ナル登錄稅ヲ貼用スル手續ニ是正ニモ拘ラズ、登記料ヲ納メタ標準價格ハ坪ニモ拘ラズ、登記料ヲ納メタ標準價格ハ坪九十圓ニ見積ラレタ、驚クベキ二倍三倍ノ價格ヲ標準トスル所ヲ印紙稅ヲ納メタ事實ガアルノデアリマス、ソレ等ハ土地ノ不動產ノ賣買ニ即シタルモノデナクシテ、洵ニ當事者ニ取ッテハ迷惑千萬ニ感ズルノデアリマス、何トカシテ此弊害ヲ除キタイト云フコトヲ私共ハ熱望シテ居ル譯デアリマス、尤モ茲ニ又從來ノ慣例デ惡イコトモアス、從來ハ其逆サマニ、實際ハ坪百圓デ賣買致シマシテモ、登記面デハ八十圓位ノ賣買ヲ假裝致シマシテ、サウシテ不正ニ脫稅ノ目的ヲ達シテ居ル慣習モアッタノデゴザルト云、フコトニハ私ハ異議ハアリマセヌガ、併シ其反對ニ、時價ハ坪三十圓ガ相當デアル、ソレデ時價ニ依フテ賣買致シタル其實買ニ於テ、二倍三倍ノ九十圓以上ニ相當時價ト云フモノヲ拂ハシムルト云フコトハ、斯ウ云フコトデゴザイマスカラ、ソレヲ持ッテ居ルコトデゴザイマスカラ、成スルコトハ、是ハマア止ムヲ得ナイカト

○石渡政府委員 服部サンノ御尋ハ、數日前ニモサウ云フ御尋ガアッタノデゴザイマスルガ、其土地所有權ノ移轉登記ノ場合、登記所ニ於テ或ル程度ノ標準ハ持ッテ居リマス、是ハ甚ダ宜クナイカラ、之ヲ矯メセウ、是ハ稅務署ニ於キマシテモ持ッテ居テ居ルト云フノハ先づアルマイト思フノデゴザイマス、若シアリマスルナラバ、是ハ餘程ナ間違デアルト思フノデゴザイマス、能ク司法當局ニモ申傳ヘテ置キマスガ、出來ルダケサウ云フヤウナ不當課稅ト云フヤウナコトノナイヤウニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○服部委員 稅務署ニ於テ甲乙ノ人ニ依テ差別ガアッテハイケナイト云フ心配ノ餘り、標準價格ト云フモノヲ備ヘテ居ラレルト云フコトハ、是ハ結構デアリマス、是ハ洵ニ是ハ國民ニ對シテ氣ノ毒ダト思ヒマス、斯ウ云フコトハ、是ハマア止ムヲ得ナイカト

ニ私モ適切ナルコトデアルト思ヒマス、併ナガラ實際ノ當事者ノ賣買ハ、價格ガ事實證明セラレタル場合ニ於テハ、ソレニコダワラナイデ、實際ノ所有權移轉ノ賣買價格ヲ標準トシテ登錄稅ヲ貼用サレル、斯ウ云フコトニ是ハ嚴ニ一ツ御取計ヒヲ願ヒタイ、サウ云フコトニ取扱ヲ堅ク守ッテ戴キタイト云フコトヲ此際切望致シテ置キマス。ソレカラ、是ヨリ一三御尋スルコトハ大藏大臣ニ御願シタイト思フノデアリマス、大藏大臣ガオ居デニナリマセヌカラ、私ハ質問ノ要領ヲ申上ゲテ置キマスカラ、適當ノ方法ヲ以テ御答下サルコトヲ希望致シテ置キマス、一ツハ配當ノ制限デアリマス、株式會社ノ配當ニ對シテ、制限ヲ加ヘラレルト云フ政策ヲ施スト云フヤウナ御考ヲ持フテ居ラレルノデハアルマイカ、是ガ私ノ一ツノ疑問ノ表題デアリマス、此事柄ハ前ノ議會ニ於テ會社ノ株式ノ配當ニ制限ヲ加ヘナイト云フコトノ御答ガ、前ノ内閣ニ依ッテアッタヤウニ承知致シテ居リマスガ、是ハ洵ニ當然ナコトデアッテ、憲法ノ趣旨カラ參リマシテ、斯様ナルコトニ制限ヲ付サルベキモノデナイト云フコトヲ能ク承知致シテ居リマスガ、何分ニモ動モスルト「ファッシュズム」ノ氣分ガ横溢シテ居ッテ何モ管理、何モ統制

ト云フ、其極端ナル統制管理ノ下ニ、或ハ有利ナル會社モ株式ノ配當ヲ制限スルノデハアルマイカト云フコトヲ、國民一般ガ非常ニ心配ヲ致シテ居ッタ時期モアリ、一時政府ノ答辯ニ依ッテ緩和ヲ致シマシタケレドモ、今日又民間ニ於テ聊カ其心配ヲ高メテソレマシタヤウニ察スルノデアリマス、トソレカト、是ヨリ一三御尋スルコトハ大藏大臣ニ御願シタイト思フノデアリマス、大藏大臣ガオ居デニナリマセヌカラ、私ハ質問ノ要領ヲ申上ゲテ置キマスカラ、適當ノ方法ヲ以テ御答下サルコトヲ希望致シテ置キマス、一ツハ配當ノ制限デアリマス、株式會社ノ配當ニ對シテ、制限ヲ加ヘラレルト云フ政策ヲ施スト云フヤウナ御考ヲ持フテ居ラレルノデハアルマイカ、是ガ私ノ一ツノ疑問ノ表題デアリマス、此事柄ハ前ノ議會ニ於テ會社ノ株式ノ配當ニ制限ヲ加ヘナイト云フコトノ御答ガ、前ノ内閣ニ依ッテアッタヤウニ承知致シテ居リマスガ、是ハ洵ニ當然ナコトデアッテ、憲法ノ趣旨カラ參リマシテ、斯様ナルコトニ制限ヲ付サルベキモノデナイト云フコトヲ能ク承知致シテ居リマスガ、何分ニモ動モスルト「ファッシュズム」ノ氣分ガ横溢シテ居ッテ何モ管理、何モ統制

ト云フ、其極端ナル統制管理ノ下ニ、或ハ有利ナル會社モ株式ノ配當ヲ制限スルノデハアルマイカト云フコトヲ、國民一般ガ非常ニ心配ヲ致シテ居ッタ時期モアリ、一時政府ノ答辯ニ依ッテ緩和ヲ致シマシタケレドモ、今日又民間ニ於テ聊カ其心配ヲ高メテソレマシタヤウニ察スルノデアリマス、トソレカト、是ヨリ一三御尋スルコトハ大藏大臣ニ御願シタイト思フノデアリマス、大藏大臣ガオ居デニナリマセヌカラ、私ハ質問ノ要領ヲ申上ゲテ置キマスカラ、適當ノ方法ヲ以テ御答下サルコトヲ希望致シテ置キマス、一ツハ配當ノ制限デアリマス、株式會社ノ配當ニ對シテ、制限ヲ加ヘラレルト云フ政策ヲ施スト云フヤウナ御考ヲ持フテ居ラレルノデハアルマイカ、是ガ私ノ一ツノ疑問ノ表題デアリマス、此事柄ハ前ノ議會ニ於テ會社ノ株式ノ配當ニ制限ヲ加ヘナイト云フコトノ御答ガ、前ノ内閣ニ依ッテアッタヤウニ承知致シテ居リマスガ、是ハ洵ニ當然ナコトデアッテ、憲法ノ趣旨カラ參リマシテ、斯様ナルコトニ制限ヲ付サルベキモノデナイト云フコトヲ能ク承知致シテ居リマスガ、何分ニモ動モスルト「ファッシュズム」ノ氣分ガ横溢シテ居ッテ何モ管理、何モ統制

ト云フ、其極端ナル統制管理ノ下ニ、或ハ有利ナル會社モ株式ノ配當ヲ制限スルノデハアルマイカト云フコトヲ、國民一般ガ非常ニ心配ヲ致シテ居ッタ時期モアリ、一時政府ノ答辯ニ依ッテ緩和ヲ致シマシタケレドモ、今日又民間ニ於テ聊カ其心配ヲ高メテソレマシタヤウニ察スルノデアリマス、トソレカト、是ヨリ一三御尋スルコトハ大藏大臣ニ御願シタイト思フノデアリマス、大藏大臣ガオ居デニナリマセヌカラ、私ハ質問ノ要領ヲ申上ゲテ置キマスカラ、適當ノ方法ヲ以テ御答下サルコトヲ希望致シテ置キマス、一ツハ配當ノ制限デアリマス、株式會社ノ配當ニ對シテ、制限ヲ加ヘラレルト云フ政策ヲ施スト云フヤウナ御考ヲ持フテ居ラレルノデハアルマイカ、是ガ私ノ一ツノ疑問ノ表題デアリマス、此事柄ハ前ノ議會ニ於テ會社ノ株式ノ配當ニ制限ヲ加ヘナイト云フコトノ御答ガ、前ノ内閣ニ依ッテアッタヤウニ承知致シテ居リマスガ、是ハ洵ニ當然ナコトデアッテ、憲法ノ趣旨カラ參リマシテ、斯様ナルコトニ制限ヲ付サルベキモノデナイト云フコトヲ能ク承知致シテ居リマスガ、何分ニモ動モスルト「ファッシュズム」ノ氣分ガ横溢シテ居ッテ何モ管理、何モ統制

ト云フ、其極端ナル統制管理ノ下ニ、或ハ有利ナル會社モ株式ノ配當ヲ制限スルノデハアルマイカト云フコトヲ、國民一般ガ非常ニ心配ヲ致シテ居ッタ時期モアリ、一時政府ノ答辯ニ依ッテ緩和ヲ致シマシタケレドモ、今日又民間ニ於テ聊カ其心配ヲ高メテソレマシタヤウニ察スルノデアリマス、トソレカト、是ヨリ一三御尋スルコトハ大藏大臣ニ御願シタイト思フノデアリマス、大藏大臣ガオ居デニナリマセヌカラ、私ハ質問ノ要領ヲ申上ゲテ置キマスカラ、適當ノ方法ヲ以テ御答下サルコトヲ希望致シテ置キマス、一ツハ配當ノ制限デアリマス、株式會社ノ配當ニ對シテ、制限ヲ加ヘラレルト云フ政策ヲ施スト云フヤウナ御考ヲ持フテ居ラレルノデハアルマイカ、是ガ私ノ一ツノ疑問ノ表題デアリマス、此事柄ハ前ノ議會ニ於テ會社ノ株式ノ配當ニ制限ヲ加ヘナイト云フコトノ御答ガ、前ノ内閣ニ依ッテアッタヤウニ承知致シテ居リマスガ、是ハ洵ニ當然ナコトデアッテ、憲法ノ趣旨カラ參リマシテ、斯様ナルコトニ制限ヲ付サルベキモノデナイト云フコトヲ能ク承知致シテ居リマスガ、何分ニモ動モスルト「ファッシュズム」ノ氣分ガ横溢シテ居ッテ何モ管理、何モ統制

ト云フヤウナ制度ヲ御立テニナル御氣持ハ  
アリマセヌカ、來ルベキ稅制ノ整理ニ於テ  
斷乎タル負擔ノ均衡ヲ圖ル、又負擔シ得ル  
人ニ負擔ヲシテ貰ッテ、衡平ニ負擔セシム  
ルト云フ稅制ノ根本的改革ヲ行ハウト云フ  
勇氣ヲ持テ居ラレル現内閣ノ大藏大臣ニ  
於テ、特ニ此家族制度ヲ尊重スルト云フ御  
趣旨モ拜聽致シマシタガ、稅制改革ノ際ニ  
ハ、一ツ此方面ノ制度ヲ確立セラレルノ御  
考ハアリマスマイカト云フノガ、第二デア  
リマス

ソレカラ次ニ御尋致シタイコトハ財產稅  
ノコトデアリマス、馬場前財政ニ於テハ、  
財產稅ヲ徵收スルト云フノデ、痛ク國民ニ  
刺戟ヲ與ヘマシタガ、將來稅制ヲ改革セラ  
レル場合ニ、又再ビ斯ウ云フヤウナ制度ヲ  
認メラル、ノデアルカ、認メナイノデアリ  
マスルカ、認メナイト云フコトデアリマス  
レバ、洵ニ結構デアリマスルガ、若シモ認メ  
ルト云フコトニナリマスルト、茲ニ私ハ憂  
フベキ事態ヲ生ズルト思フノデアルガ、其  
一二ヲ申上ゲタイト思ヒマス、馬場財政ニ  
於テ財產稅ヲ擔ギ出シテ來タ、ソコデ國民  
大衆ハ憂ヘテ、是ハ何程デモ、財產ヲ持テ  
居ルモノハ稅ヲ課ケラレルノダカラ、是ハ

堪ラヌト云フノデ、最モ用心深ク早合點ヲシタ人デ、私ノ能ク承知シテ居ル人デアルガ、總テノ物ヲドンヽ賣拂ッテ、ソレヲ或シテ地中ニ埋メテ、ソレヲボツリヽト削ッテハ「ダイヤモンド」ニ替ヘ、或ハ金ノ延棒ニシテ地中ニ埋メテ、ソレヲボツリヽト削ッテハ生活ノ安定ヲ得ル、斯ウ云フコトハ實際話ノヤウデアルガ、サウ云フ方針デ以テ財產ノ整理ヲシ始メタ人ガアリマス、若シモ將來來ルベキ稅制改革ニ於テ、又此財產稅ガ擡頭シテ來マスト、左様ナ事實モアチラコチラニ出テ來ルデアラウ、或ハ佛像トカ、神様ノ像トカ、強制執行ノ目標ニナラナイ物ニ、「プラチナ」トカ金トカ云フヤウナモノヲ鑄造シテ、サウシテ貯メルト云フコトヲ實際計畫シテ、ソレニ著手シタ人ガ事實アルノデアリマス、左様ニ國民ノ多方面ニ影響シテ來マスト、此財產稅ト云フモノハ、洵ニ容易ナラヌ事態ヲ生ズルモノデアラウト私ハ考ヘマス、金ガ拂底シテ高イノデ、之ヲ地中ニ埋メテシマフ、ソレガ將來掘出サレテ、使用サレ、バ宜イガ、其人ガ突然死ンデシマッタ場合、地中ニ金ガ埋モレテ、ソレガ全ク無クナツテシマフト、寶ガ國カラ無クナツテシマフト云フヤウナ結果ヲ生ズルノデアリマスガ、此馬場財政ニ於テ擔ギ出シタル財產稅ヲ、御採リニナルト

云フヤウナ御氣持デモアルノデアリマス  
カ、之ヲ伺ッテ置キタイ  
ソレカラ次ニ伺ヒタイノハ、何モ彼モ此  
頃税金ガ課リマスガ、私共ガ當然税金ヲ課  
ケラレテ宜イト思フモノデ課ケラレテ居ナ  
イモノガアル、ソレハ何デアルカト言フト  
娛樂用ノ器具ニ對シテ税金ガ課ケラレテ居  
ナイ、之ニ對シテ課ケル御意思ハナイカ、其最  
モ顯著ナルモノハ「ゴルフ」ニアリマス、吾  
吾ハ「ゴルフ」ヲ爲ス階級ニ屬シナイカラ、  
ヤキモチヲ燒イテ申スノデハナイ、アノ「ゴ  
ルフ」ヲ爲サレテ居ル人々ノ行動ヲ見マス  
ト、隨分贅澤ノ極ヲ盡シテ居ル、澤山ノ地  
面ヲ費シ、澤山ノ金ヲ費シテ道具ヲ買入レ  
テ、サウシテオ供ヲ連レテ、多額ノ費用ヲ  
使ツテ「ゴルフ」遊戯ニ熱中シテ居ル所ノ階  
級ガ澤山アツテ、ソレガ年々益々顯著ナル増  
加率ヲ以テ增加シテ居ルノデアリマス、運  
動ト云フコトハ洵ニ結構デアリマスガ、私  
ハ斯様ナ所ニ澤山ノ費用ヲ費シテマデ運動  
スル必要ハナイ、其他ニ幾ラモ運動ハアル  
ト思ヒマス、然ルニ斯様ナ遊戯的運動ニ莫  
大ナル金ヲ費シテ居ル、是モ必シモ惡イト  
ハ申シマセヌガ、左様ナル贅澤ナル遊ビニ  
使用セラル、品物ニ對シテ課稅セラル、御

考ハアルマイカ、ト申上ゲルコトハ、私ハ  
先年「デパート」ニ對シテ非常ニ不快ノ念ヲ  
以テ、何トカ「デパート」ニ對シテ稅ヲ課ケ  
ル方法ヲ工夫シナケレバナルマイト考ヘ  
タ、何故カト言フト「デパート」ニ於テハ非  
常ニ立派ナ品物ガ陳列シテアル、ソレヲ見  
ルト遂ニ買ヒタクナル、奢侈ノ心ヲ煽ラレ  
ル、甚シキニ至ッテハ万引、搔拂ヒヲヤルト  
云フヤウナ犯罪マデモ犯ス、「デパート」ニ  
於テ犯サレル犯罪ノ數ト云フモノハ非常ニ  
澤山ナモノデアル、是ハ「デパート」自身ガ  
營業政策上警察へ持出サヌダケデアツテ、  
万引ト云ヒマスカ、何ト云ヒマスカ、品物  
ヲ持フテ歸ル犯罪ト云フモノハ非常ナ數ニ  
上ツテ居ルノデアリマス、デアルカラ餘り  
立派ナ品物ヲ澤山竝ベテ娘サンヤ、オ嬢サ  
ンノ心ヲ唆リ、延テハ奥サンノ心持マデ唆  
ルト云フヤウナコトヲ仕向ケルヤウナコト  
ハ甚ダ宜シクナイ、何カ之ヲ取締ラナケレ  
バナルマイト云フノデ心配ヲ致シマシタ  
ガ、段々ト其事ニ氣ガ付イテ、ソレニ對ス  
ル對策ガ今講ゼラレテ居ルノデアリマス、  
又中小商工業者ノ憤激モアツテ、適當ナル  
方法ガ段々編出サレテ參ツタノデアリマス  
カラ、洵ニ結構ト思ヒマスガ、遊戯道具、  
娛樂道具ニ對シテ稅金ヲ課セラレル御考ハ

アリマスマイカ、以上ノ點ニ付テ御答辯ヲ  
願ヒタイト思ヒマス

モウ一ツ付加ヘテ申上ダトイコトハ、  
前内閣ノ最モ重大ナ問題トシテ取扱ハレタ  
電力國營トカ、電力管理トカ云フヤウナ問  
題ガ擔ギ出サレマシタガ、或ハ又私ハ瓦斯  
管理トカ云フヤウナモノガ出テ來ルグラウ  
ト思ヒマス、或ハ砂糖官營、或ハ生命保險  
官營ト云フヤウナモノガ段々出テ來ルグラ  
ウト思ヒマスガ、其電力、瓦斯ノコトハ姑  
ク措イテ砂糖デアルトカ、生命保險デアル  
トカ云フモノニ對シテハ、私ハ一ツノ考ヲ  
持ッテ居ル、砂糖會社ハ今極メテ莫大ナ利益  
ヲ收メテ居ル、產業上最モ重要ナ地位ヲ占  
メテ居ルモノデアリマスガ、之ヲ統一シテ  
以テ國家ノ事業トシテ、稅源ト爲スト云フ  
ヤウナ御考ヲ持ッテ居ラレナイデセウカ、  
又生命保險ニ付キマシテモ、是亦巨額ナル  
資本ヲ擁シテ、生命保險ガ今日デハ殆ド銀  
行ノヤウナ狀態ヲ成シテ居ルノデアリマ  
ス、今日ノ銀行家ハ生命保險ノ後援ガナク  
テハ、銀行ノ經營ガ出來ナイト云フ程ニ、生  
命保險ノ内容ト云フモノハ充實セラレテ、  
其資本ガ運用セラレテ居ル、此生命保險ニ  
對シテ之ヲ國營ニスルトカ、或ハ國家ガ管  
理ヲスルトカ云フヤウナ考ヲ、御持チニ

ナツテ居ラナインデセウカ、以上五項目ニ對  
シマシテ、極ク簡單ニ御心持ダケデ宜シイ  
カラ伺ヒタイト思フノデアリマス、來ルベ  
キ稅制ノ改革ニハ、是等ノ御考ガ織込マレ  
ルト、織込マレナイトハ國民ニ取フテハ大  
ナル影響ヲ感ズルモノデアリマスカラ、是  
等ノ政策ニ付テノ御心持ヲ、一つ政府當局  
カラ伺フテ置キタイノデアリマス

○増田委員長 服部君ニ伺ヒマスガ、今ノ  
御質問ハ大藏大臣ノ御考ヲ伺ヒタイノデア  
リマスカラ、政府委員ガソレヲ諒トセラレ  
テ、大藏大臣ニ御取次願フテ、適當ノ機會  
ニ答辯アランコトヲ要求スルニ止メテハ如  
何デスカ

○服部委員 結構デアリマス、私別ニ質問  
書ヲ出シマセヌカラ、速記錄ニ依ッテ御答  
辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、書面デモ宜シウ  
ゴザイマス

○増田委員長 ドウゾ左様願ヒマス——  
古河委員ヨリ大藏省ノ政府委員ニ質疑致シ  
タイトノコトデアリマスガ、本日ハ時間ノ  
都合上取止メ、書面ヲ以テ質疑スルトノ  
コトデス、就キマシテハ大藏當局ヨリ書面  
ヲ以テ親切ナル御答辯アランコトヲ希望シ  
テ置キマス、質疑ハ終了致シマシタ、次會  
ハ討論ニ入リマス、併シ何カ重大ナ質疑ガ

起ツタ場合ニハ之ヲ許シマス、次會ノ期日ハ  
公報ヲ以テ御知ラセ致シマス、本日ハ是ニ  
テ散會致シマス

午後五時二十分散會

昭和十二年三月十三日印刷

昭和十二年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社